使用説明書 〈保守編〉

1 はじめに
2 消耗品を交換する
3 清掃・調整する
4 付録

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「本書『安全上のご注意』」をお読みください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上の注意』をお読みください。

株式会社リコー

複製、印刷が禁止されているもの

- 本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。
- 1. 複製、印刷することが禁止されているもの
- （見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

* 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
* 日本や外国の郵便切手、印紙

☛（関係法律）

- 紙幣類似証券取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- （刑法 第１４８条 第１６２条）

- 2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

* 外国の紙幣、貨幣、銀行券
* 株券、手形、小切手などの有価証券
* 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
* 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

☛（関係法律）

- 刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

- 3. 著作権法で保護されているもの

* 著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

目次

安全上のご注意 3
表示について 3
表示の例 3
使用上のお願い 7
エネルギースター 8
電波障害自主規制、高調波ガイドライン 8
マークについて 9

1. はじめに

各部の名称とはたらき 11
全体 11
背面 12
内部 13
操作パネル 14

2. 消耗品を交換する

トナーを補給する 15
廃トナーボトル1を交換する 19
廃トナーボトル2を交換する 21
定着オイルユニットを交換する 23

3. 清掃・調整する

清掃するときの注意 29
給紙コロ・フリクションパッドを清掃する 30
レジストローラーと搬送ガイド板を清掃する 32
防じんガラスを清掃する 34
カラー階調を補正する 35
階調の補正値を設定する 35
カラー階調補正値設定シートと階調補正シートの見方 37
階調の補正値を初期値に戻すには 39
印刷濃度を調整する 40
印刷位置を調整をする 41

4. 付録

消耗品一覧 43
トナーカートリッジ 43
廃トナーボトル1 43
廃トナーボトル2 44
定着オイルユニット 44
ステープル針 44
用紙 45
定期交換部品一覧 46
現像ユニット 46
定着ユニット 46
感光体ユニット 46
用紙に関する注意 47
用紙をセットするとき 47
用紙を保管するとき 47
用紙の種類ごとの注意 47
使用できない用紙 49
印刷範囲 50
保守・運用について 51
お客様登録・保守契約 51
移動 51
廃棄 53

索引 54

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチ（機種によっては主電源スイッチを含みます）を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチ（機種によっては主電源スイッチを含みます）を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。
- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

- プリンター本体は約60kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面にある取っ手を2人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離移動するときは、サービス実施店に相談してください。

- 500枚増設トレイユニットは約15kgあります。
- 増設トレイユニットを移動するときは、増設トレイユニット上面の 2 本の棒を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離移動するときは、サービス実施店に相談してください。

- 500枚フィニッシャーを取り付けるときは、必ず両側面を持ってください。底部を持つと手をはさむおそれがあり、けがの原因になります。

- 4ビンプリントポストを取り付けるときは、必ず両側面を持ってください。底部を持つと手をはさむおそれがあり、けがの原因になります。

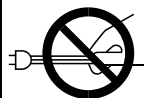
- 本機の前カバー、左カバーにはものを載せないでください。

- 両面印刷ユニットは固定されるまで手を離さないでください。落下してけがの原因になります。

- 定着ユニットは急激に引き出さないで下さい。落下して、けがの原因になります。

- 本機背面のコントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。

- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換は本機の電源を切ってから30分以上待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベル⚠の貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

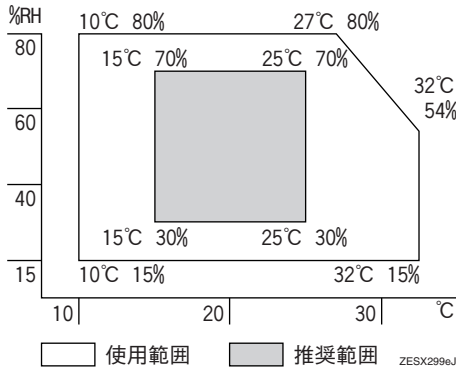
- IC2（リチウム電池）を火中に投入しないでください。破裂して、やけどの原因になります。

- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分の掃除をしてください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

- 本機を直接床に置いて使用しないでください。本機に力が加えられたときに傾いてけがの原因になります。床に置く場合には、専用テーブルがオプションにありますので販売店にご相談ください。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

使用上のお願い

- トナーや感光体ユニットなど､すべての消耗品や部品は､リコー指定の製品によりプリント品質を評価しています。品質維持のため、リコー指定の消耗品をご使用ください。リコー指定の消耗品については、P.43「消耗品一覧」を参照してください。
- 水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。
  設置する台の水平度：前後左右5mm以下
- 温度や湿度が以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。

- 寒い所から暖かい所に移動したり､設置場所における急激な温度上昇によって､機械内部に結露が生じることがあります｡結露が生じた場合は､1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください｡
- プリンター内部の温度が上昇すると､故障の原因になります｡物を置いたり､立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください｡
- 各部のカバーを開けたままにしないでください｡
- プリント終了後、3分間は電源を切らないでください｡
- 印刷中に各部のカバーや両面印刷ユニットを開いたり、プリンターを移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください｡
- 印刷中に電源を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。
- 印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 本機設置場所の温度や湿度の状態によっては､印刷時に用紙から水蒸気が発生し､用紙出口から排出されたときに白い湯気になって見えることがあります。
- 印刷時には、本体右カバー上部付近が暖かくなりますが、異常ではありません。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機は安定した品質を維持するために、通電中はプリント指示をしていなくても定期的に動作する場合があります。
- 本機では、月間印刷枚数を3,000枚（A4▯カラー印刷とモノクロ印刷の比率が1:1の場合）以下、および1日の通電時間の合計が8時間程度の条件で､耐用年数を5年と設定して設計､製造されています。月間の印刷枚数 が3,000枚（A4▯カラー印刷とモノクロ印刷の比率が1:1の場合）を超えていたり、1日に合計8時間以上電源が入っていますと、耐用年数が設定された年数より短くなる場合があります。
  耐用年数5年の基準となる印刷枚数は、カラー印刷とモノクロ印刷の比率が1:1の場合に換算した数値です。カラー印刷の割合が多ければ印刷枚数は少なくなります。

エネルギースター

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。

このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。

本製品は、同プログラムに掲げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

- 低電力機能
  - 本機には、低電力機能として「省エネモード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費が低くなります。省エネモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作パネルのキーを押すと解除されます。
  - 省エネモードの設定時間は、システム設定メニューで変更します。システム設定メニューの変更のしかたは、使用説明書<システム設定編>「操作パネルを使用する」を参照してください。
  - 機能の仕様

低電力機能	消費電力	35W以下
	省エネモードへの移行時間	30分

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者にご相談ください。

電波障害自主規制、高調波ガイドライン

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

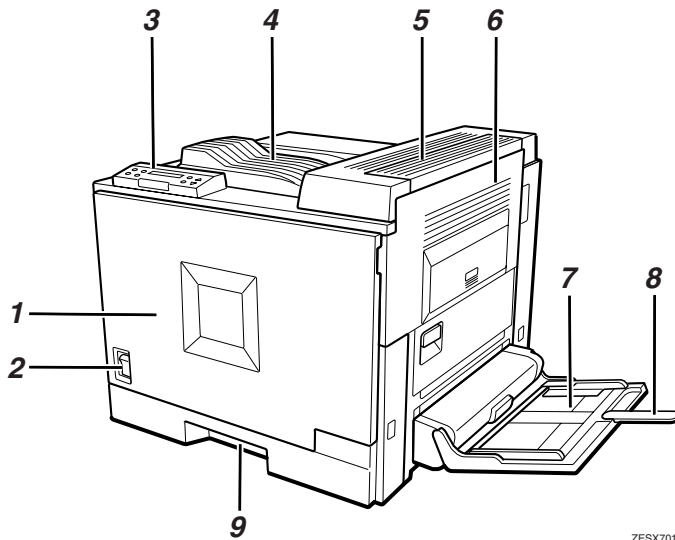
[　　]

画面のキーの名称を示します。

【　　】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

各部の名称とはたらき

全体

***1.* 本体前カバー**

トナー、定着オイルユニット、廃トナーボトルを交換するときに開けます。

また､用紙がつまったときは本体前カバーを開けて、前カバー内側の説明を確認します。

***2.* 電源スイッチ**

プリンターの電源をON/OFFします。

***3.* 操作パネル**

キーを使用してプリンターを操作したり、ディスプレイで動作状態を確認します。

⇒ P.14 「操作パネル」

***4.* 本体排紙トレイ**

印刷された用紙が､印刷面を下にして排紙されます。

***5.* 本体右上カバー**

分岐ユニットを取り付けるときに取り外します。

***6.* 本体右カバー**

各種オプションをセットするとき､つまった用紙を取り除くときに開けます。

***7.* 手差しトレイ（マルチ）（IPSiO CX 6600に標準装備）**

普通紙で最大100枚までセットできます。

セットできる用紙のサイズ、種類については､使用説明書＜運用編＞「用紙について」を参照してください。

***8.* 用紙支持板**

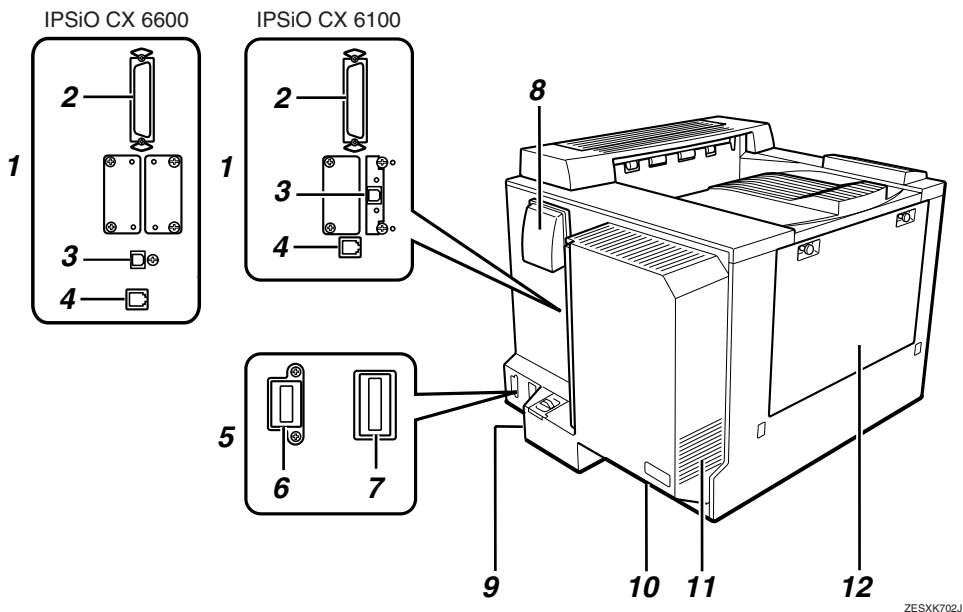
A4▭より長い用紙を手差しトレイ（マルチ）にセットするときに延ばします。

***9.* 給紙トレイ**

普通紙で最大250枚までセットできます。

セットできる用紙のサイズ、種類については､使用説明書＜運用編＞「用紙について」を参照してください。

1

背面

***1.* コントローラーボード**

SDRAMモジュールや拡張エミュレーションモジュールなどを取り付けるときに引き出します。

***2.* パラレルインターフェースコネクター**

プリンターとパソコンに接続するパラレルインターフェースケーブルを接続します。

***3.* USBインターフェースコネクター**

プリンターとパソコンに接続するUSB インターフェースケーブルを接続します。

***4.* イーサネットケーブルコネクター**

プリンターとネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

***5.* コネクター**

本体の電源ケーブルや、各オプションからのケーブルを接続します。

***6.* 手差しトレイ（マルチ）用コネクター**

手差しトレイ（マルチ）のケーブルを接続します。

***7.* 分岐ユニット用コネクター**

分岐ユニットのケーブルを接続します。

***8.* 排気口（防じんフィルター）**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気が排出されます。物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。内部に防じんフィルターがセットされています。

***9.* 排気口（防じんフィルター / オゾンフィルター）**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気が排出されます。物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。内部に防じんフィルター /オゾンフィルターがセットされています。

***10.* 本体電源コネクター**

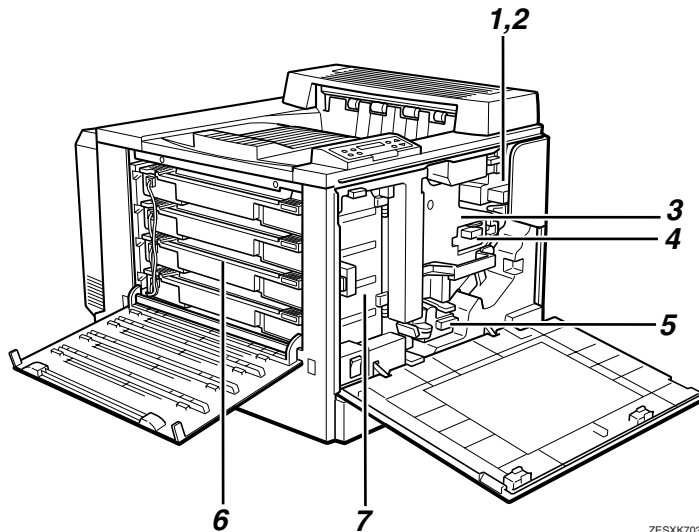
本体の電源ケーブルを接続します。ケーブルの片方はコンセントに差し込みます。

***11.* 吸気口**

機械内部の温度上昇防ぐための空気の取り入れ口です。物を立て掛けたりして給気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

***12.* 本体左カバー**

現像ユニットを交換するときに開けます。

内部

1. **定着ユニット**

トナーを用紙に定着させるためのユニットです。

「テイチャククコウカン」、または「テイチャクユニットヲコウカンシテクダサイ」というメッセージが表示されたら交換します。

定着ユニットの交換については、サービス実施店に連絡してください。

2. **定着オイルユニット**

定着ユニットに取り付けるオイルユニットです。

「テイチャクオイルコウカン」、または「テイチャクオイルユニットコウカンジキデス」というメッセージが表示されたら交換します。

3. **感光体ユニット**

画像を形成するための感光体ベルトを含むユニットです。

「カンコウタイコウカン」というメッセージが表示されたら交換します。

感光体ユニットの交換については、サービス実施店に連絡してください。

4. **廃トナーボトル2**

印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。

「ハイトナー2コウカン」、または「ハイトナーボトル 2 ヲコウカンシテクダサイ」というメッセージが表示されたときに交換します。

5. **廃トナーボトル1**

印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。

「ハイトナー1コウカン」、または「ハイトナーボトル 1 ヲコウカンシテクダサイ」というメッセージが表示されたときに交換します。

6. **現像ユニット**

上段からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順番に現像ユニットをセットします。

「K ゲンゾウコウカン」というメッセージが表示されたら、現像ユニットブラックを交換します。「Yゲンゾウコウカン」、「Cゲンゾウコウカン」、「M ゲンゾウコウカン」というメッセージが表示されたら、現像ユニットカラーを交換します。

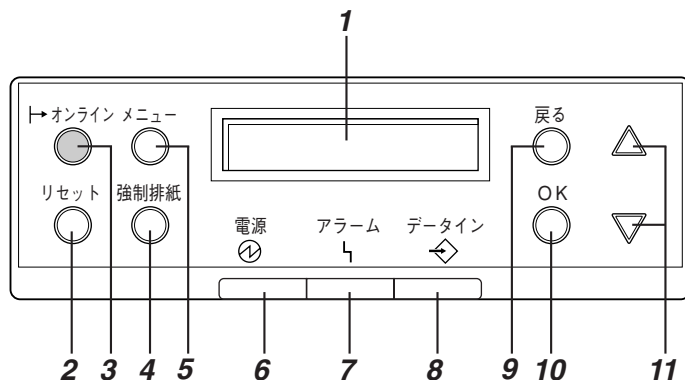
現像ユニットの交換については、サービス実施店に連絡してください。

7. **トナーカートリッジ**

上段からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順番にトナーカートリッジをセットします。

トナー補給のメッセージが表示されたら交換します。

1

操作パネル

1. **ディスプレイ**
   プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。

2. **【リセット】キー**
   印刷中または受信中のデータを取り消すときに使用します。

3. **オンラインランプ/【オンライン】キー**
   プリンターが「オンライン状態」か「オフライン状態」かを示し、キーを押すことでオンラインとオフラインを切り替えることができます。
   オンライン状態はパソコンからのデータを受信できる状態でランプは点灯します。
   オフライン状態はパソコンからデータを受信できない状態でランプは消灯します。
   各種の設定中に**【オンライン】**キーを押すと、通常の画面に戻ります。

4. **【強制排紙】キー**
   オフライン状態のときはプリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。
   オンライン状態のときに送られたデータの用紙サイズや用紙種類が、実際にセットされている用紙サイズや用紙種類と合わなかった場合に強制的に印刷することができます。

5. **【メニュー】キー**
   操作パネルで行うプリンターに関する全ての設定は、このボタンを押してメニューに入って行います。

6. **電源ランプ**
   電源が入ってるときに点灯します。ただし、省エネモードになっているときは消灯します。
   トナー補給中など本機が準備動作をしているときは点滅します。また、印刷終了後に30秒間点滅します。

7. **アラームランプ**
   エラーが発生しているときに点灯します。ディスプレイでエラーの内容を確認して対処してください。

8. **データインランプ**
   パソコンから送られたデータを受信しているときは点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

9. **【戻る】キー**
   設定を有効にせずにメニューの上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに使用します。

10. **【OK】キー**
    設定や設定値を確定するとき、メニューの下位の階層に移動するときに使用します。

11. **【▲】、【▼】スクロールキー**
    表示画面をスクロールするとき、設定値を増減させるときに使用します。キーを押しつづけると表示画面が早くスクロールしたり、数値を10単位で増減させたりすることができます。

2. 消耗品を交換する

⚠警告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解･改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

⚠注意

- 本機の前カバー、左カバーにはものを載せないでください。

⚠注意

- トナー等の消耗品や部品は、リコー指定の製品によりプリント品質を評価しています。品質維持のため、リコー指定のトナー、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

トナーを補給する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

補足

❒ トナーの印刷可能ページ数は、P.43「消耗品一覧」を参照してください。

❒ トナー（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡してください。

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジを交換してください。

```
XXXﾄﾅｰﾎｷｭｳ
```

または、

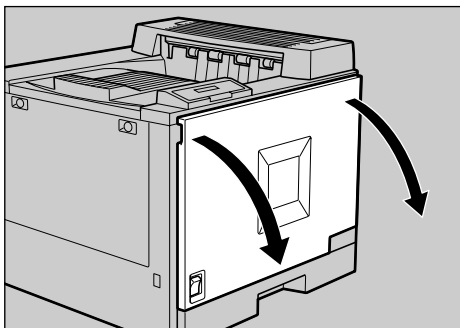
```
ﾄﾅｰｦﾎｷｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
XXX/XXX
```

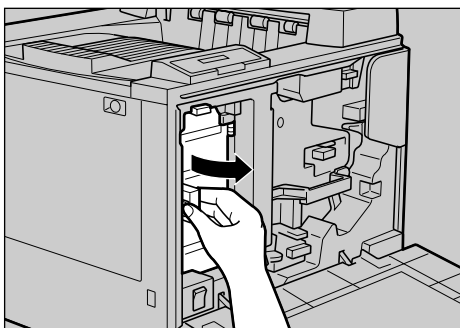
補足

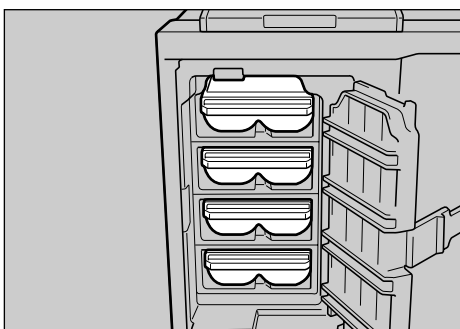
❒「XXX」にはイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックと表示されます。

2

1 **本機の前カバーを開けます。**

ZEST006J

2 **本機内部の緑色のカバーを、取っ手をつまみながら開けます。**

ZEST999J

上からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順にトナーカートリッジがセットされています。

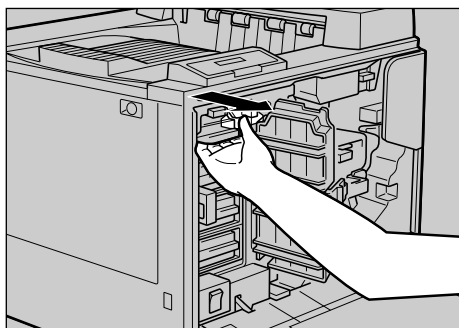
ZESH413J

3 **交換するトナーカートリッジを取り外します。**

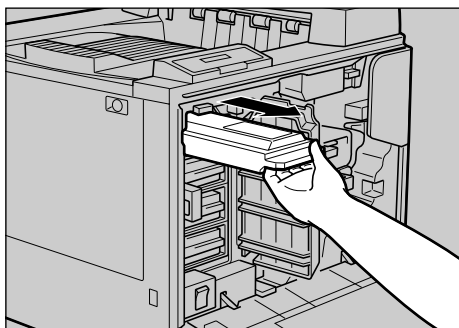
重要

- 取り外したトナーカートリッジは振らないでください。残ったトナーが飛び散ることがあります。
- 引き出すときにトナーカートリッジを揺すらないでください。揺すりながらトナーカートリッジを取り外すと、現像ユニットがはずれることがあります。また、それによって印刷結果に影響が出ることがあります。

❶ 途中で止まるまで、手前にまっすぐゆっくりと引き出します。

補足

- トナーカートリッジは、引き出している途中でいったん止まります。

ZEST202J

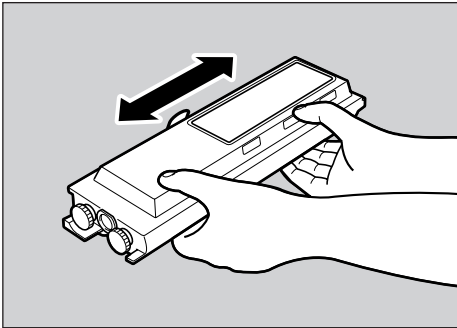
❷ 少し力を加えて、さらにまっすぐゆっくりと引き出して取り外します。

ZEST201J

補足

- トナーカートリッジの取り外し方法は、4個とも同じです。

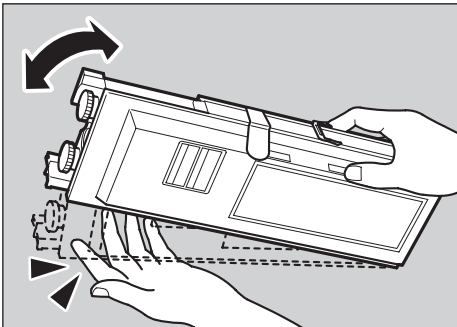
4 新しいトナーカートリッジを準備します。

トナーカートリッジを取り付ける前に、トナーカートリッジ内のトナーをほぐします。

❶ 新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、図のように水平に10〜12回振ります。

ZEST204J

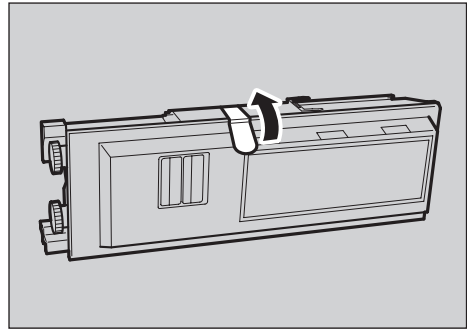
重要

❒ トナーカートリッジの先端部分（図の左側）には触らないでください。故障の原因になります。

❷ トナーカートリッジを図のように持ち、手の上で軽く7〜8回叩いてください。

ZEST993J

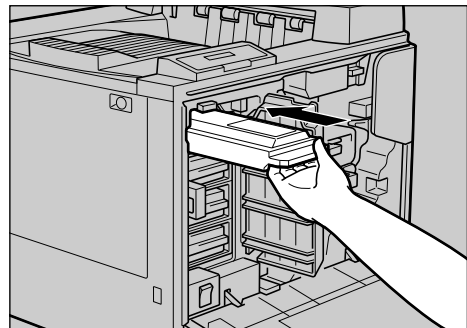
重要

❒ トナーがよくほぐれないままトナーカートリッジを取り付けて使用すると、トナー残量の誤検出などの原因となる場合があります。

❸ シールを静かに取り除きます。

ZESTA990J

重要

❒ シールを取り除くときに、シャッターが開かないようにしてください。シャッターが開くと、トナーがこぼれます。

5 新しいトナーカートリッジを水平に差し込み、ゆっくりと奥まで押し込みます。

ZEST004J

重要

❒ トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れる場合があります。

❒ トナーがよくほぐれないまま取り付けられますと、トナー残量の誤検出などの原因となる場合があります。

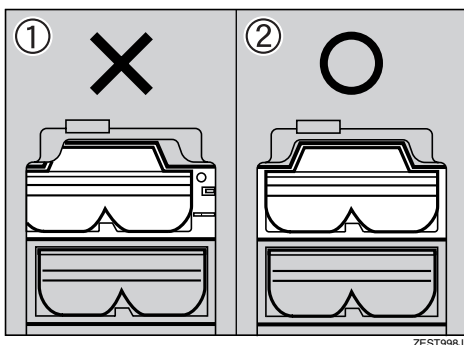
補足

❒ トナーカートリッジの取り付け方法は、4個とも同じです。

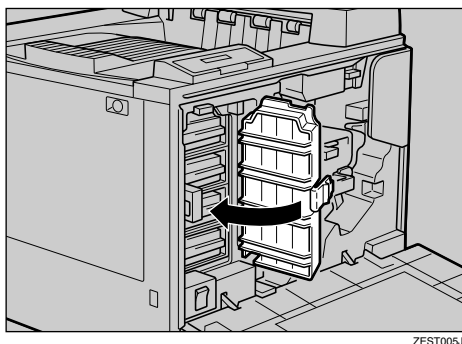
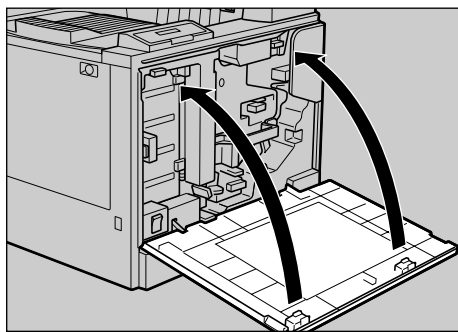
6 トナーカートリッジが左に寄っていないことを確認します。

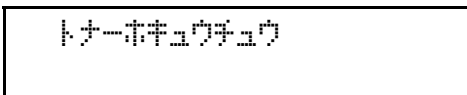
図①のようにトナーカートリッジが左に寄っているときは、セットしたトナーカートリッジをゆっくりと持ち上げながら右に移動し、図②に示す位置にしてください（このイラストは、ブラックトナーカートリッジを正面から見た状態を示しています）。

重要

❒ トナーカートリッジが左に寄っていると、印刷結果に影響が出ることがあります。

トナーカートリッジを図②の位置にしたにもかかわらず、印刷結果の端に白抜けが発生する場合は、「かんたんセットアップ」の「7　テスト印刷をする」－「サンプル通りに確認シートが出力されなかったとき」の手順を参照して、現像ユニットをセットし直してください。

7 手順 3 で取り外したトナーカートリッジを、新しいトナーカートリッジが入っていた箱に入れます。

8 本機内部のカバーを閉めます。

9 本機の前カバーを閉めます。

次のメッセージが表示されますので処理が完了するまでお待ちください。

ﾄﾅｰﾎｷｭｳﾁｭｳ

重要

❒ 処理中に電源を切らないでください。故障の原因になります。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

廃トナーボトル1を交換する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、廃トナーボトル1を交換してください。

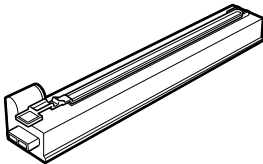
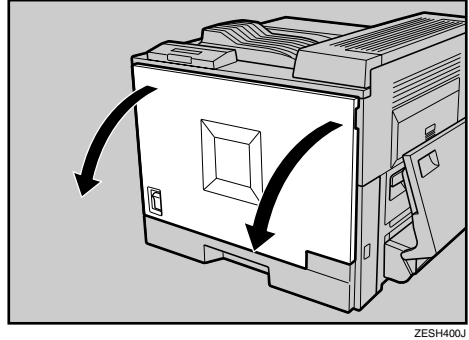
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙ1ｦ
ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ

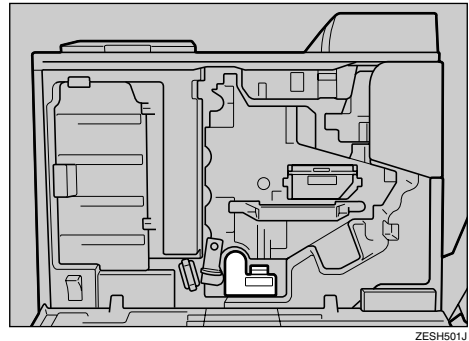
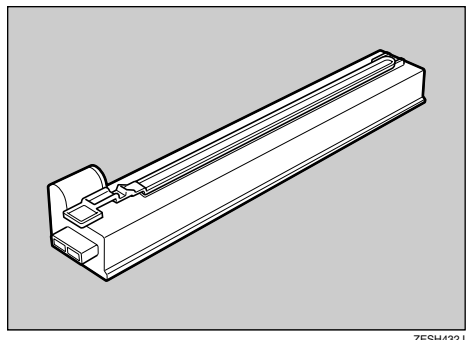
同梱品は、次の通りです。

❖ **廃トナーボトル1**

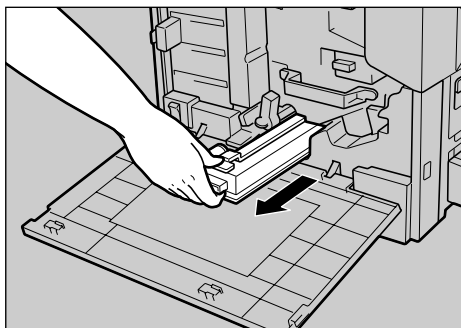
❖ **交換手順書**

1 **本機の前カバーを開けます。**

ZESH400J

廃トナーボトル1は図の位置にセットされています。

ZESH501J

2 **新しい廃トナーボトル 1 を袋から取り出します。**

ZESH432J

2

3 廃トナーボトル1を取り出します。レバーをつまみながらゆっくりと引き抜きます。

ZESH433J

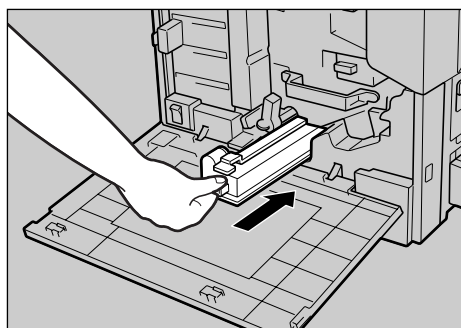
重要

❒ トナーがこぼれる恐れがありますので水平に引き出してください。

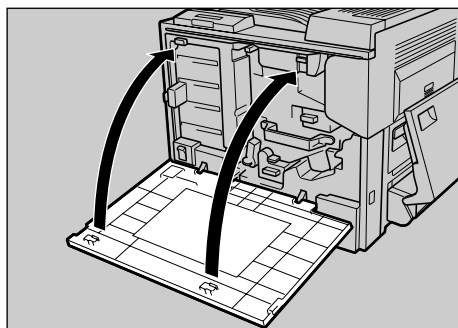
4 取り出した廃トナーボトル1を、新しい廃トナーボトルが入っていた袋に入れて封をします。

重要

❒ トナーがこぼれる恐れがありますのでゆっくりと作業してください。

5 新しい廃トナーボトル 1 をカチッと音がするまで押し込みます。

ZESH434J

重要

❒ 廃トナーボトルはしっかりと奥までセットしてください。取り付けが中途半端だとプリンター内部にトナーが漏れる原因になります。

6 本機の前カバーを閉めます。

ZESH406J

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

廃トナーボトル2を交換する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、廃トナーボトル2を交換してください。

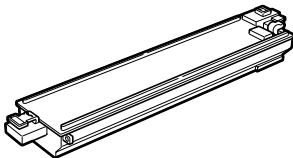
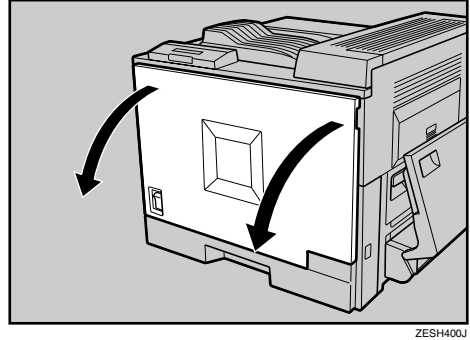
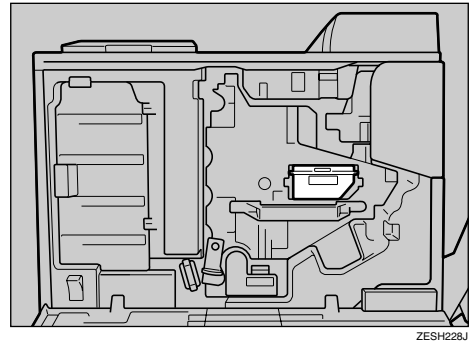
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙ2ｦ
ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ

同梱品は、次の通りです。

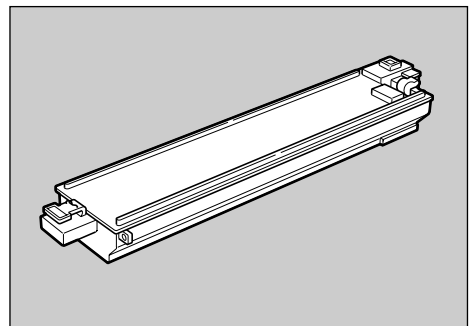
❖ **廃トナーボトル2**

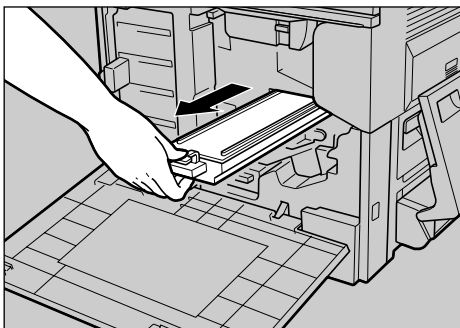
❖ **交換手順書**

1 **本機の前カバーを開けます。**

ZESH400J

廃トナーボトル2は図の位置にセットされています。

ZESH228J

2 **新しい廃トナーボトル 2 を袋から取り出します。**

ZESH802J

2

3 廃トナーボトル2を取り出します。レバーをつまみながらゆっくりと引き抜きます。

ZESH229J

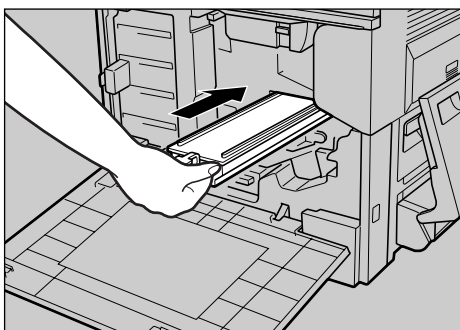
重要

- ❒ トナーがこぼれる恐れがありますので水平に引き出してください。

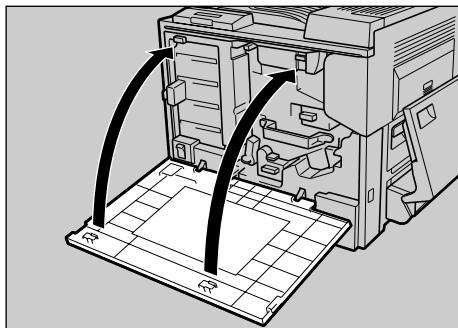
4 取り出した廃トナーボトル2を、新しい廃トナーボトルが入っていた袋に入れて封をします。

重要

- ❒ トナーがこぼれる恐れがありますのでゆっくりと作業してください。

5 新しい廃トナーボトル２をカチッと音がするまで押し込みます。

ZESH230J

重要

- ❒ 廃トナーボトルはしっかりと奥までセットしてください。取り付けが中途半端だとプリンター内部にトナーが漏れる原因になります。

6 本機の前カバーを閉めます。

ZESH406J

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

定着オイルユニットを交換する

⚠注意

- 定着ユニットは高温になります。定着オイルユニットの交換は本機の電源を切ってから約30分待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 必ず取っ手部分を持ってください。高温になっている場合があり、やけどの原因になります。

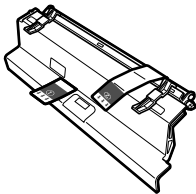
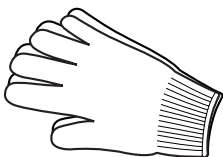
⚠注意

- 定着ユニットは急激に引き出さないで下さい。落下して、けがの原因になります。

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、定着オイルユニットを交換してください。

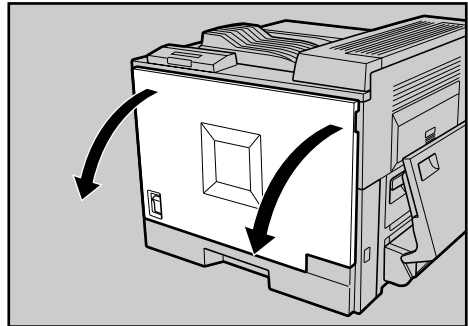
```
ﾃｲﾁｬｸｵｲﾙﾕﾆｯﾄ
ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ
```

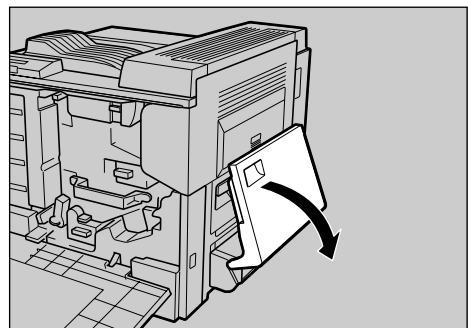
同梱品は、次の通りです。

❖ **定着オイルユニット**

❖ **軍手**

❖ **廃棄用袋**

❖ **交換手順書**

1 **本機の電源を切ります。**

2 **本機の前カバーを開けます。**

ZESH400J

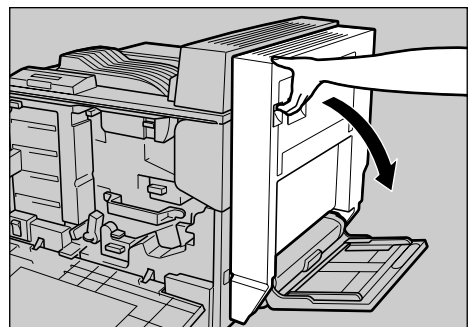
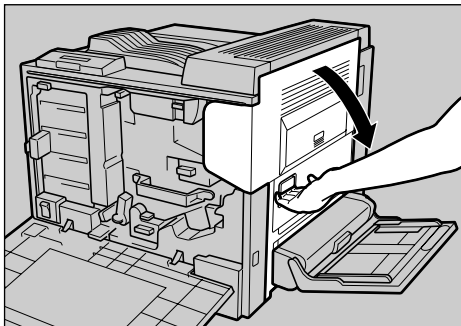
3 **手差しトレイ（マルチ）を取り付けている場合は開きます。**

ZESH047J

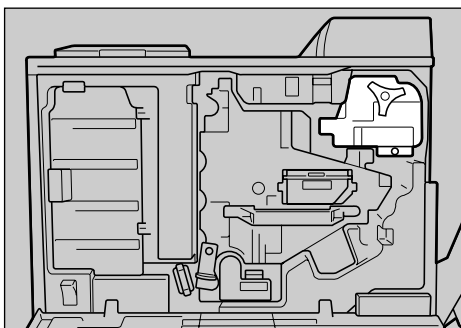
補足

❒ 手差しトレイ（マルチ）に用紙がセットされている場合は、用紙が落下しますので取り除いてください。

4 **両面印刷ユニットを取り付けている場合は、ロック解除ボタンを押しながら開きます。**

ZESH048J

2

5 **レバーを引いて、本機の右カバーを開けます。**

ZESH208J

定着オイルユニットは、図の位置の定着ユニット上部にセットされています。

ZESH401J

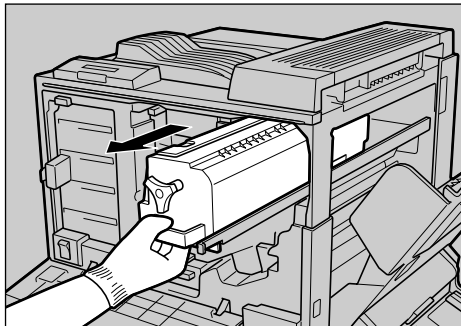
6 **定着ユニットを固定している緑色のコインねじを、手応えが軽くなるまで緩めます。**

ZESH402J

補足

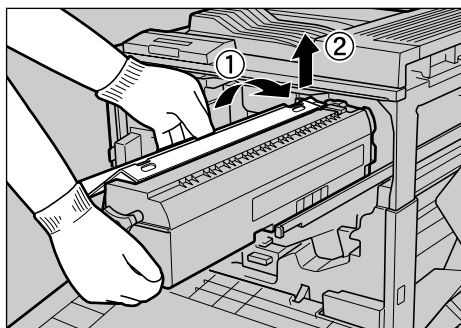
- ❒ きつく締まっていますので、コインなどを使って緩めてください。
- ❒ このコインねじは取り外せません。

7 **定着オイルユニットに同梱されている軍手をはめます。**

8 **取っ手を持ち、定着ユニットを止まるまで手前に引き出します。**

ZESH052J

補足

- ❒ 定着ユニットの全体が見えるまで引き出します。

9 **定着オイルユニット中央の緑色のシールが貼られている部分を持ち、矢印（①）→（②）の方向に傾けて取り外します。**

ZESH404J

重要

- ❒ 取り外した定着オイルユニットのローラー部分周辺にはオイルが付着しています。手や衣服などに触れないようご注意ください。

10 **取り外した定着オイルユニットを、同梱の袋に入れます。**

11 **新しい定着オイルユニットを準備します。**

1. **新しい定着オイルユニットを袋から取り出します。**
2. **保護紙を取り外します。**

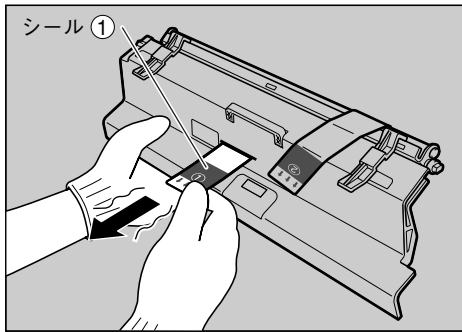
❸ **定着オイルユニットを左手に持ち、シール❶を左右に振りながら引き抜きます。**

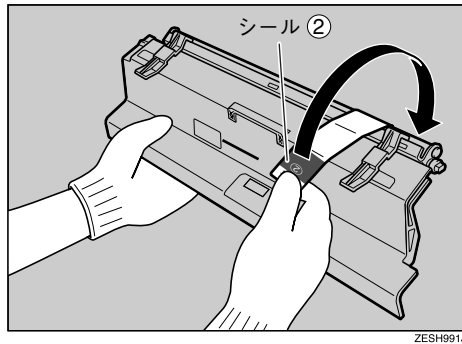
重要

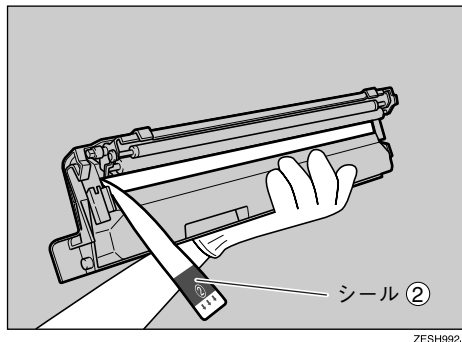
❒ 引き抜いたシールにはオイルが付着しています。手や衣服などに触れないようご注意ください。

補足

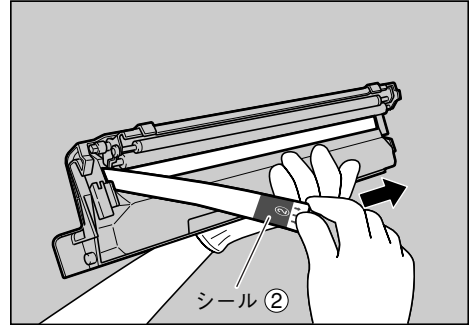
❒ 引き抜けないときは、強く引っ張ってください。

ZESH990J

❹ **定着オイルユニットの裏側に向かってシール❷をはがします。**

ZESH991J

❺ **定着オイルユニットを左手に持ったまま、裏返します。**

ZESH992J

❻ **下図のように、シール❷をゆっくりとはがします。**

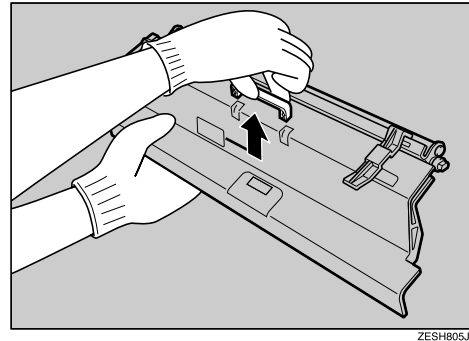
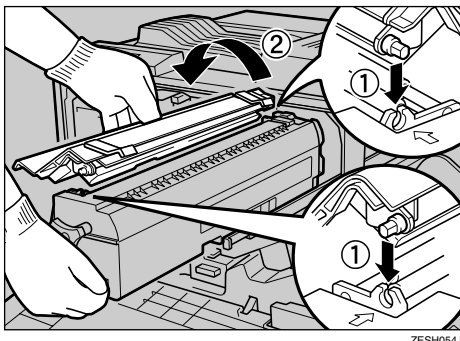
図に示されている白い部分がすべてシール❷です。途中で切れないように、すべてはがします。

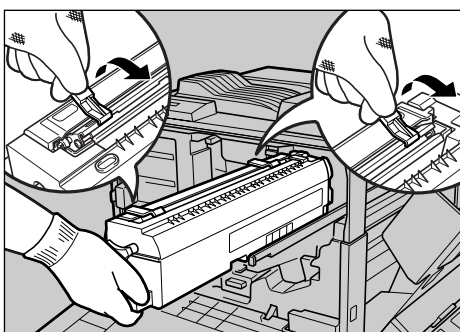
ZESH993J

重要

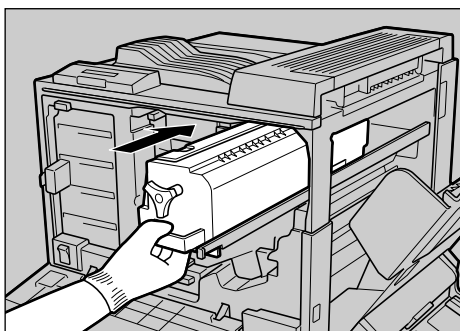
❒ シールは必ずはがしてください。シールをはがさずにセットすると故障の原因になります。

❒ シールをはがした部分とはがしたシールにはオイルが付着しています。手や衣服などに触れないようご注意ください。

❼ **固定具を取り外します。**

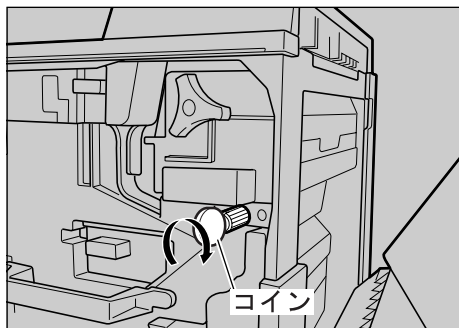
ZESH805J

12 定着オイルユニット中央の緑色のシールが貼られている部分を持ち、定着オイルユニットの軸を、定着ユニットの金属製のホルダーに差し込みます（①）。定着オイルユニットを矢印の方向に動かして（②）しっかりとセットします。

ZESH054J

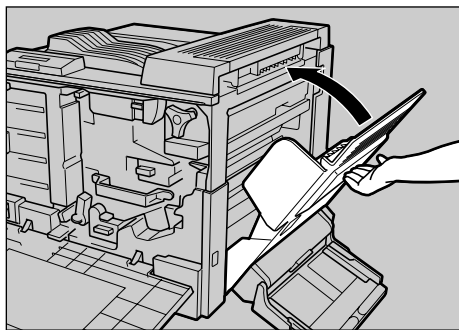
13 定着オイルユニットに付いている赤色の固定具をテープと一緒に2つはずします。

ZESH056J

14 取っ手を持ち、定着ユニットをゆっくりと奥まで押し込みます。

ZESH050J

重要

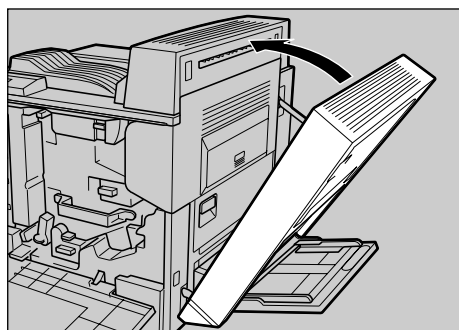
- 定着ユニットは強く押し込まないでください。故障の原因になります。

15 緑色のコインねじを締めて定着ユニットを固定します。コインねじが完全に止まるまで、コインなどを使ってきつく締めてください。

ZESH520J

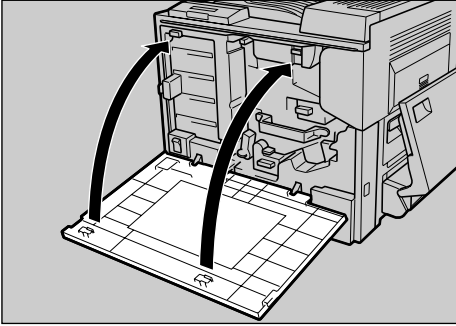
16 本機の右カバーを閉めます。

ZESH010J

補足

- 「PUSH」を押してしっかり閉めてください。

17 両面印刷ユニットを取り付けている場合は閉じます。

ZESH405J

18 手差しトレイ（マルチ）を取り付けている場合は閉じます。

19 本機の前カバーを閉めます。

ZESH406J

20 本機の電源を入れます。

21 メンテナンスクリアを行います。

次のメッセージが表示された場合は、同梱されている交換手順書を参照して、メンテナンスクリアを行ってください。

ﾃｲﾁｬｸｵｲﾙﾕﾆｯﾄ
ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ

ﾃｲﾁｬｸｵｲﾙｺｳｶﾝ

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

清掃するときの注意

⚠警告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解･改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

プリンターを良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。

外装の清掃は、まずやわらかい布で空拭きします。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、そのあと空拭きし、水気を十分に取ります。

重要

- ❒ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。
- ❒ プリンターの内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

給紙コロ・フリクションパッドを清掃する

⚠注意

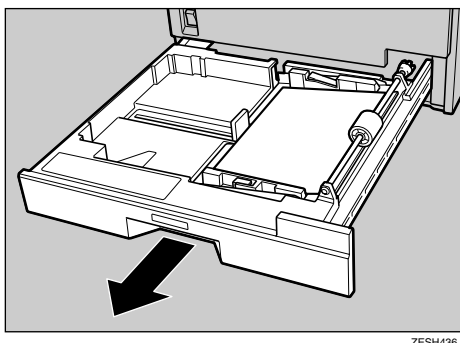
- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベル ⚠ の貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

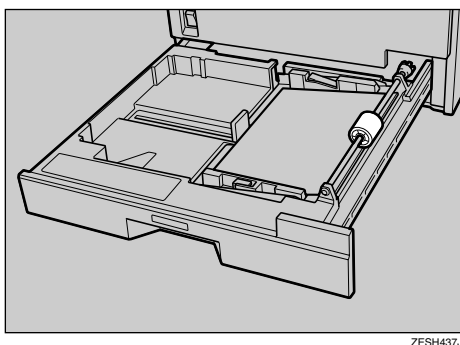
3

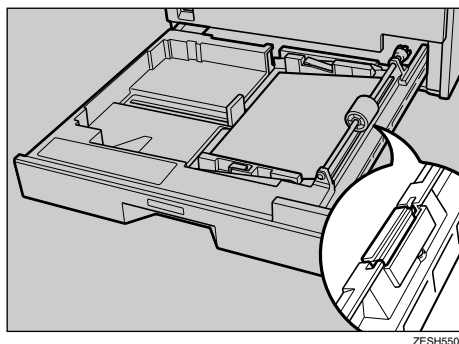
標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出て給紙コロ、フリクションパッドが汚れると、用紙が送られなかったり、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。そういうときは給紙コロ、フリクションパッドを清掃してください。

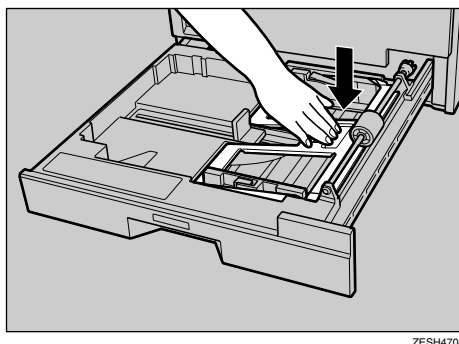
給紙コロ（給紙トレイ（標準）用）とフリクションパッドを清掃する

1 給紙トレイ（標準）を引き出します。

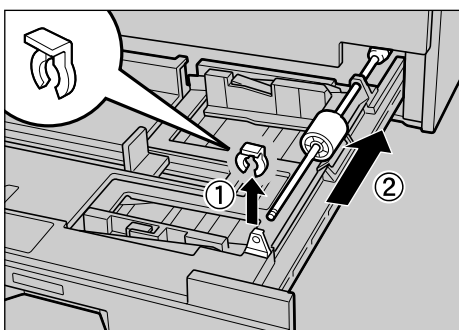
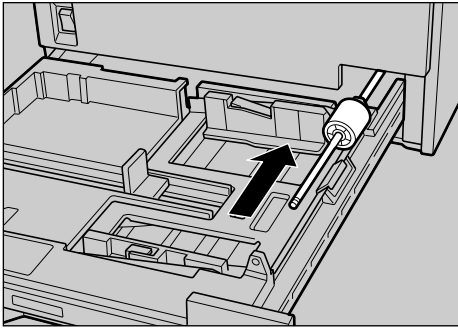
ZESH436J

給紙コロは図の位置にセットされています。

ZESH437J

フリクションパッドは図の位置にセットされています。

ZESH550J

2 「Push」を押して底板を下げます。用紙がセットされているときは、用紙の上から押し下げます。

ZESH470J

3 用紙がセットされているときは取り出します。

4 ストッパーを取り外し（①）、バーを奥にスライドさせて、手前の穴から抜きます（②）。

ZESH438J

5 バーを図の位置まで押し込みます。

ZESH444J

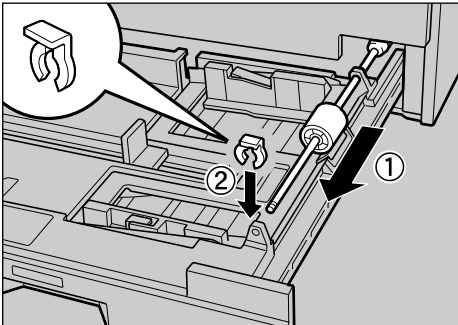
6 水でぬらし固く絞った布で、給紙コロのゴムの部分とフリクションパッドの白色の部分を拭きます。

補足

- 給紙コロはバーを回しながらゴムの部分全体を拭いてください。

重要

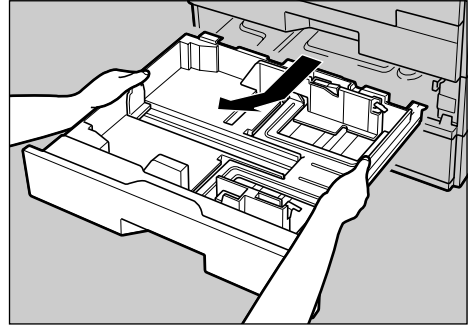
- アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

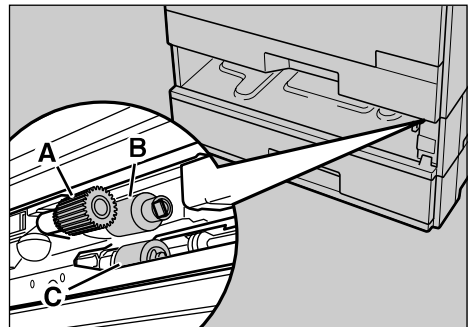
7 バーをトレイの穴に差し込み(①)、ストッパーを取り付けます（②)。

ZESH441J

8 用紙を戻して、給紙トレイ（標準）を閉めます。きちんとセットされるまで押し込んでください。

給紙コロ（500枚増設トレイ用）を清掃する

1 本機の電源を切ります。

2 500枚増設トレイユニットの給紙トレイをゆっくりと引き出し、少し持ち上げて引き抜きます。

ZESH654J

給紙コロ（500枚増設トレイ用）は図の位置に、A、B、C3種類セットされています。

ZESH655J

3 水でぬらし固く絞った布で、給紙コロのゴムの部分を拭きます。

補足

- 回しながらゴムの部分全体を拭いてください。

重要

- アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

4 500枚増設トレイユニットの給紙トレイを閉めます。きちんとセットされるまで押し込んでください。

5 本機の電源を入れます。

レジストローラーと搬送ガイド板を清掃する

⚠注意

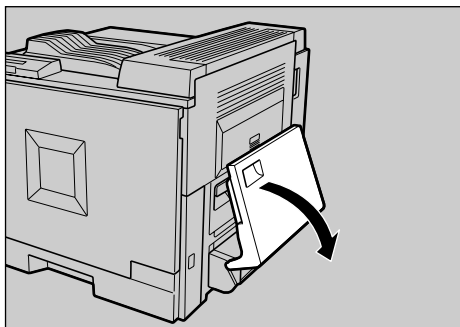
- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベル ⚠ の貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- レジストローラーと搬送ガイド板の清掃は、プリンターの電源が切れていて、本機が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

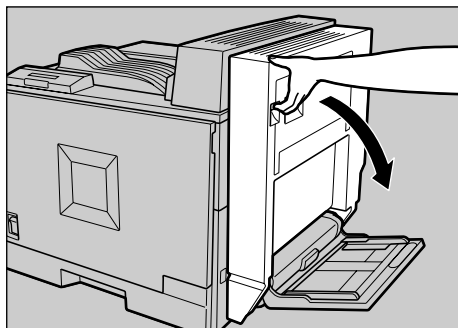
1 本機の電源を切ります。

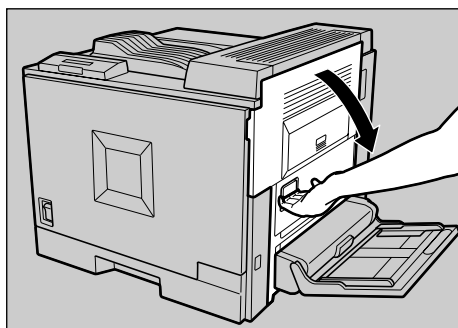
2 手差しトレイ（マルチ）を取り付けている場合は開きます。

ZESH206J

補足

- ❒ 用紙が落下しますので、手差しトレイ（マルチ）の用紙は取り除いてください。

3 両面印刷ユニットを取り付けている場合は、ロック解除ボタンを押しながら開きます。

ZESH510J

4 レバーを引いて、本機の右カバーを開けます。

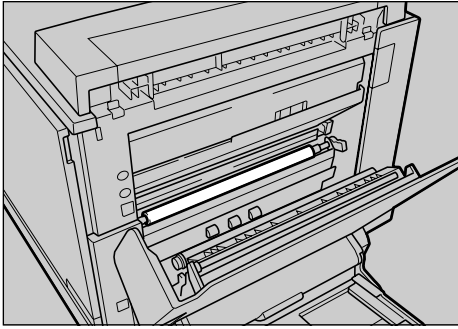
ZESH458J

重要

- ❒ 危険ですので機械の内部には触らないでください。

5 水でぬらし固く絞った布でレジストローラーを回しながら拭きます。

レジストローラーは図の位置にセットされています。

ZESH703J

重要

❒ アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

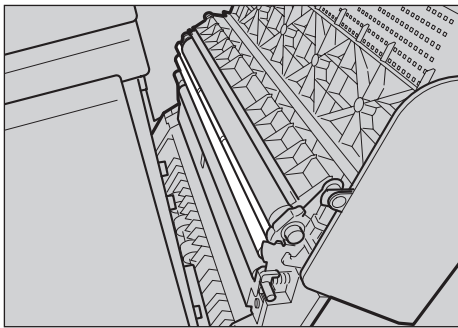
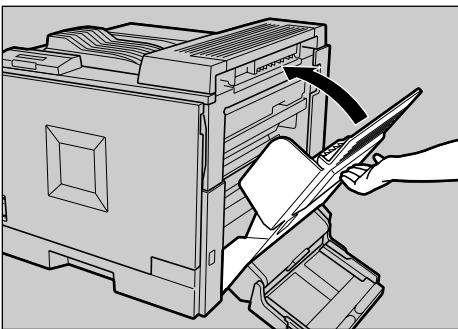
6 乾いた布で搬送ガイド板を拭きます。

搬送ガイド板は図の位置にセットされています。

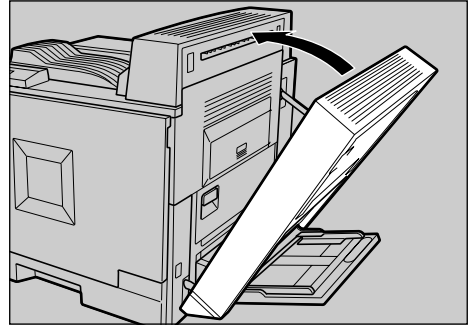
ZESH803J

7 本機の右カバーを閉めます。

ZESH459J

補足

❒「PUSH」を押してしっかり閉めてください。

8 両面印刷ユニットを取り付けている場合は閉じます。

ZESH460J

9 手差しトレイ（マルチ）を取り付けている場合は閉じます。

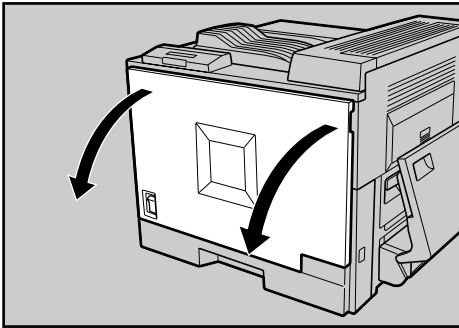
10 本機の電源を入れます。

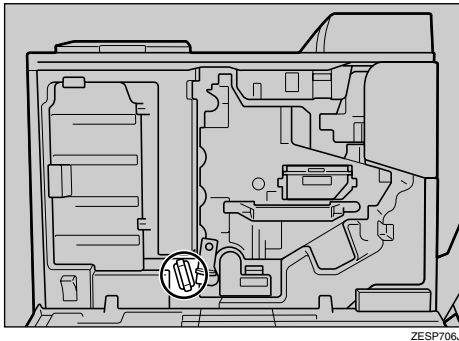
防じんガラスを清掃する

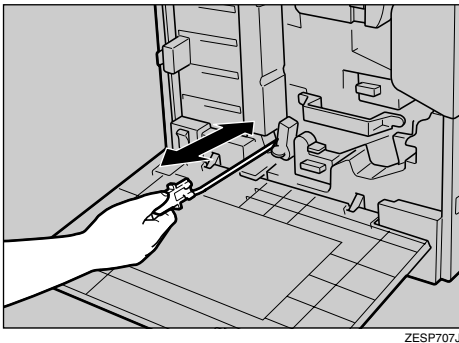
印刷時に白いスジが出るようになったら、防じんガラスの清掃が必要です。

1 本機の電源を切ります。

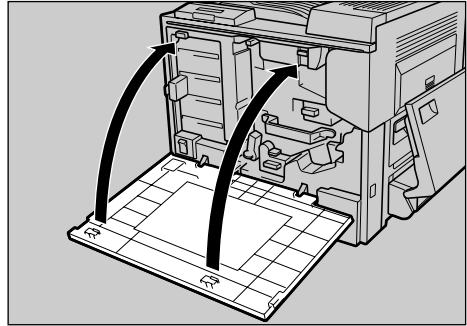
2 本機の前カバーを開けます。

ZESH400J

防じんガラスを清掃するための清掃棒は図の位置にセットされています。

ZESP706J

3 掃除棒を8〜10回くらい、ゆっくりと抜き差しします。

ZESP707J

4 清掃棒をゆっくりと奥まで差し込み、元の位置に戻します。

5 本機の前カバーを閉めます。

ZESH406J

6 本機の電源を入れます。

カラー階調を補正する

カラー印刷の階調はさまざまな要素によって微妙に変化します。印刷を繰り返しているうちに色味が変化したり、トナーを交換したときに色味が変わることがあります。この場合、カラー階調を補正することにより、適切な階調の印刷結果を得ることができますが、通常は特に設定する必要はありません。

補足

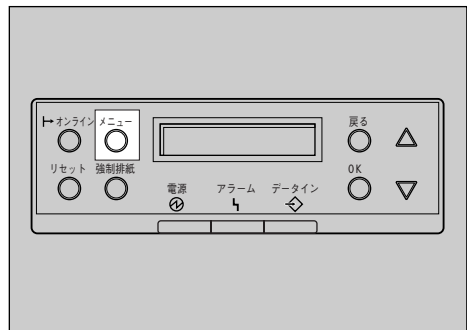
- ❒ １回の操作で補正しきれないときは、必要に応じて数回補正を繰り返してください。
- ❒ 階調補正を行うと、印刷するすべてのユーザーの印刷結果に反映されます。
- ❒ 一連の操作で使用する階調補正シートの用紙は、同じ種類の用紙を使用してください。違う種類の用紙を使用すると正確に補正されません。
- ❒ 本編の最初のページに挟まれているカラー階調補正値設定シートが必要になります。

カラー階調の補正は次の流れで行います。

- 階調補正値設定シートを用意する
- 階調補正シート１を印刷する
  - ⇒「階調補正値設定シートと階調補正シートの見方」
- ハイライト部を調整する
  - ① 階調補正シート1にカラー階調補正値設定シートの色見本（階調補正1）を重ねて、近い色の番号を設定する
  - ② 階調補正シートを印刷し、補正結果を確認する
- 階調補正シート２を印刷する
  - ⇒「階調補正値シートと階調補正シートの見方」
- ミドル部を調整する
  - ① 階調補正シート2にカラー階調補正値設定シートの色見本（階調補正2）を重ねて、近い色の番号を設定する
  - ② 階調補正シートを印刷し、補正結果を確認する
- 補正値を保存する

階調の補正値を設定する

本機では、印刷されたときに最も明るい部分（ハイライト部）と、最も明るい部分と最も暗い部分にあたる中間の調子（ミドル部）の2つの部分の階調を補正します。ハイライト部は「補正1」で、ミドル部は「補正2」で補正値を設定します。

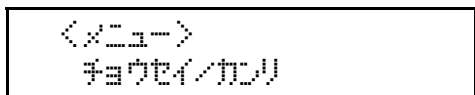
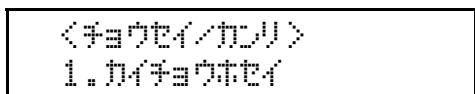
1 **【メニュー】キーを押します。**

メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】または【▼】キーを使用して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

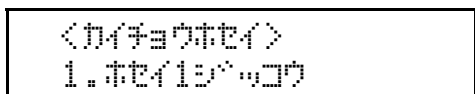
<メニュー>
チョウセイ/カンリ

調整/管理メニューが表示されます。

3 **【▲】または【▼】キーを使用して「カイチョウホセイ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<チョウセイ/カンリ>
1.カイチョウホセイ

補正2だけを実行する場合は、手順**7**に進んでください。

4 **「ホセイ1 ジッコウ」が表示されていることを確認し、【OK】キーを押します。**

<カイチョウホセイ>
1.ホセイ1ジッコウ

5「スル」が表示されていることを確認し、【OK】キーを押して階調補正シート1を印刷します。

```
<ホセイシート1 インサツ>
1.スル
```

6 補正1でハイライト部の階調の補正値を設定します。

補足

- ❒ 補正値は印刷された階調補正シートを見ながら設定します。階調補正シートの見方については、P.37「カラー階調補正値設定シートと階調補正シートの見方」を参照してください。

❶ K（ブラック）の階調を設定します。

階調補正シートの背景色にもっとも近い色に割り当てられている補正値(0～6)を【▲】キー、【▼】キーで設定します。

```
<ホセイ1>
 K:3 M:3 C/Y:3/3
```

補足

- ❒ K、M、C、Yとも設定値が3のときの操作パネル例です。
- ❒【▲】キー、または【▼】キーを押すごとに、1ずつ増減します。
- ❒ 補正値は0～6まで設定できます。

❷【OK】キーを押します。

```
<ホセイ1>
 K:2 M:3 C/Y:3/3
```

▒がM（マゼンタ）に移動します。

❸ 手順❶❷と同様にしてM（マゼンタ）、C（シアン）、Y（イエロー）を設定します。

❹ すべての設定が終わったら、▒がY（イエロー）の設定値の上にあることを確認して【OK】キーを押します。

```
<ホセイ1>
 K:2 M:3 C/Y:2/3
```

補足

- ❒ Mの値を2、Cの設定値を2にそれぞれ変更したときの操作パネルの例です。

❺「1.スル」が表示されていることを確認し、【OK】キーを押して補正結果を印刷します。

```
<ホセイケッカ インサツ>
1.スル
```

❻ 印刷された階調補正シートを確認します。補正値を保存して終了する場合は、「1.ホゾンシテシュウリョウ」が表示されていることを確認し、【OK】キーを押します。補正値を保存しないで終了する場合は、【▲】または【▼】キーを使用して「2.ホゾンセズニシュウリョウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

補足

- ❒ 保存しないで終了した場合は、補正値が反映されません。

```
<カイチョウ ホセイ1>
1.ホゾンシテ シュウリョウ
```

```
<カイチョウ ホセイ1>
2.ホゾンセズニシュウリョウ
```

補正2に進みます。

補正2を実行しない場合は、手順**10**に進みます。

7【▼】キーを押して「ホセイ2 ジッコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<カイチョウホセイ>
2.ホセイ2ジッコウ
```

8「スル」が表示されていることを確認し、【OK】キーを押して階調補正シート2を印刷します。

```
<ホセイシート2 インサツ>
1.スル
```

9 **手順6と同様の操作を行い、補正2でミドル部の階調の補正値を設定します。**

10 **すべての設定が終わったら【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

```
インサツデキマス
RPCS
```

カラー階調補正値設定シートと階調補正シートの見方

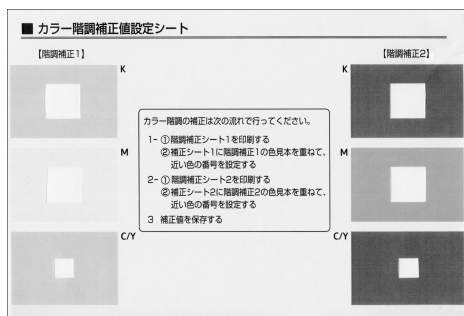
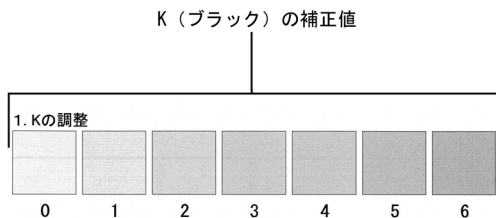
カラー階調補正値設定シートにはハイライト部設定用の色見本「階調補正1」欄とミドル部設定用の色見本「階調補正2」欄があります。

階調補正シートには、ハイライト部設定用の「階調補正シート1」とミドル部設定用の「階調補正シート2」の2種類があります。「階調補正シート1」は補正1で、「階調補正シート2」は補正2で使用します。

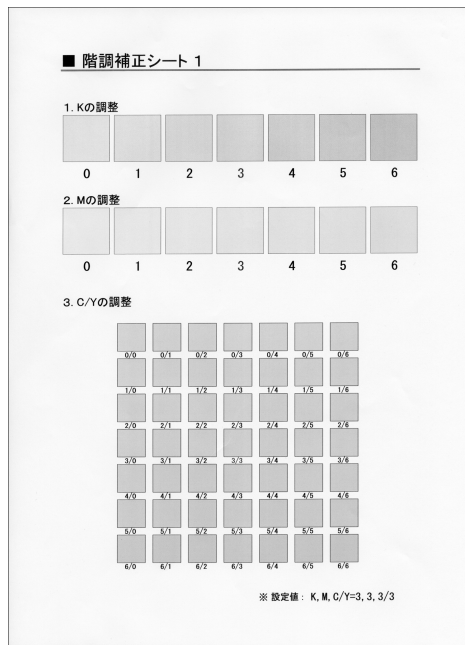
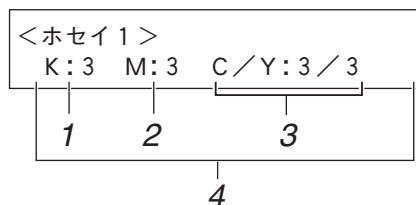
❖ 色見本と補正値

ここでは、カラー階調補正値設定シートの色見本と階調補正シートの補正値の見方について説明します。
K（ブラック）の設定方法を例に説明しています。設定方法はM（マゼンタ）の場合も同様です。C/Y（シアン/イエロー）は、2色を組み合わせた状態で補正値を決めますが、パネル上では1色ずつ設定します。

補足

❒ カラー階調補正値設定シートの階調補正1の色見本（K）に補正値設定シート1の「Kの調整」の補正値（0〜6）を重ね、色見本ともっとも近い補正色を見つけ、その補正値を操作パネルで設定します。現在設定されている補正値は赤色で印刷されます。

印刷した階調補正シートとパネル表示は次の図のように対応しています。
階調補正は、K（ブラック）、M（マゼンタ）、C（シアン）/Y（イエロー）の各色の補正値を階調補正シートを見て決め、操作パネルで設定します。

補足

- 図は「階調補正シート1」の例です。

パネル表示（補正値設定画面）

1. **K（ブラック）の調整**
ブラックのトナー 1 色のみを使用したときに印刷される色を調整します。現在設定されている補正値は、赤色で印刷されます。

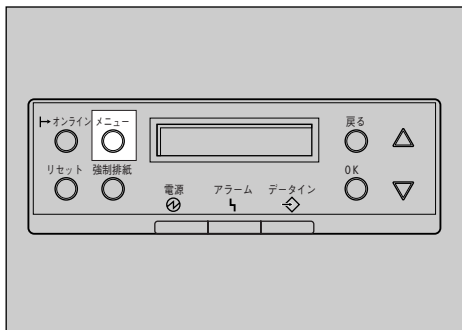
2. **M（マゼンタ）の調整**
マゼンタのトナー 1 色のみを使用したときに印刷される色を調整します。現在設定されている補正値は、赤色で印刷されます。

3. **C（シアン）／Y（イエロー）の調整**
シアンとイエローを使用したときに印刷される色を補正します。シアンとイエローは、2 色を組み合わせた状態で補正値を決めますが、パネル上では 1 色ずつ設定します。

4. **設定値**
階調補正シート印刷時に設定されている数値が表示されます。操作パネルで設定した数値と対応します。

階調の補正値を初期値に戻すには

階調設定した補正値を初期値に戻します。

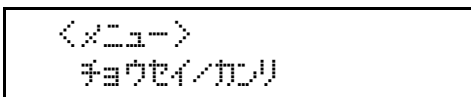
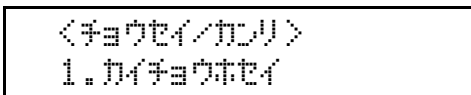
1 【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

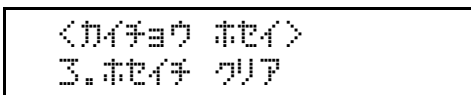
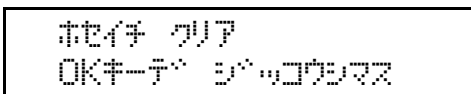
<ﾒﾆｭｰ>
 ﾁｮｳｾｲ/ｶﾝﾘ

調整/管理メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して「カイチョウホセイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

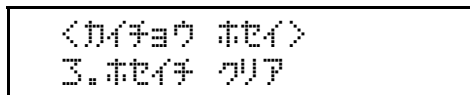
<ﾁｮｳｾｲ/ｶﾝﾘ>
1.ｶｲﾁｮｳﾎｾｲ

4 【▲】または【▼】キーを使用して「ホセイチクリア」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ>
3.ﾎｾｲﾁ ｸﾘｱ

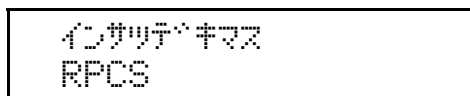
確認のメッセージが表示されます。

ﾎｾｲﾁ ｸﾘｱ
OKｷｰﾃﾞ ｼﾞｯｺｳｼﾏｽ

5 【OK】キーを押します。

階調の補正値が初期値に戻ります。

「ホセイチクリア」メニューに戻ります。

<ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ>
3.ﾎｾｲﾁ ｸﾘｱ

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

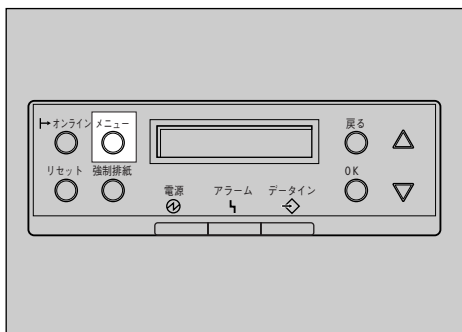
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS

印刷濃度を調整する

印刷面にかすれや汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。

濃度調整はカラーバランスを崩す原因になりますので、できるだけ工場出荷時の設定でお使いください。複数のカラープリンターの色合わせをするような特殊な場合にだけ調整してください。

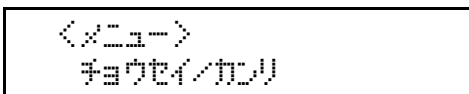
重要

- ❒ 極端に淡側、濃側に設定すると、地汚れの原因になります。
- ❒ 濃度の調整は、できるだけアプリケーションやプリンタードライバーで行ってください。

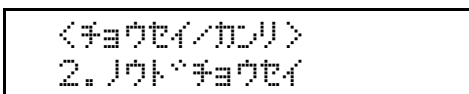
1 **【メニュー】キーを押します。**

ZDJS001J

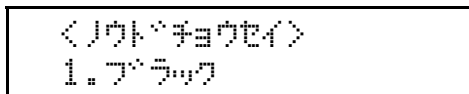
メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】または【▼】キーを使用して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

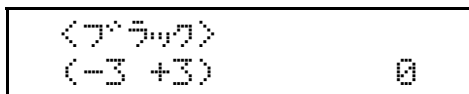
```
<メニュー>
 チョウセイ/カンリ
```

調整/管理メニューが表示されます。

3 **【▲】または【▼】キーを使用して「ノウドチョウセイ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<チョウセイ/カンリ>
2.ノウドチョウセイ
```

4 **【▲】または【▼】キーを使用して調整する色を選択し、【OK】キーを押します。**

```
<ノウドチョウセイ>
1.ブラック
```

印刷濃度の設定画面が表示されます。

5 **【▲】または【▼】キーを使用して印刷濃度の調整値を表示させ、【OK】キーを押します。**

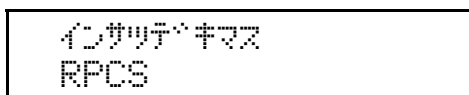
```
<ブラック>
(-3  +3)          0
```

補足

- ❒ 印刷濃度は-3～+3の7段階で調整できます。数値をプラス方向に増やすと濃く、マイナス方向に増やすと薄くなります。
- ❒【▲】または【▼】キーを押すごとに1つずつ数値が増減します。

他の色の濃度調整をする場合は、手順4、5を繰り返します。

6 **すべての設定が終わったら【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

```
インサツデキマス
RPCS
```

印刷位置を調整をする

トレイごとの印刷位置をあわせるために印刷位置を調整することができます。通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの給紙テーブルや両面印刷ユニットを取り付けたときに調整します。

1 **【メニュー】キーを押します。**

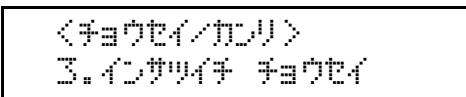
メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】または【▼】キーを使用して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<メニュー>
 チョウセイ/カンリ
```

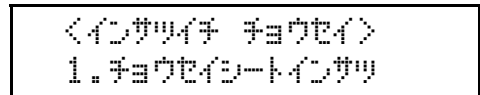
調整/管理メニューが表示されます。

3 **【▲】または【▼】キーを使用して「インサツイチ　チョウセイ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

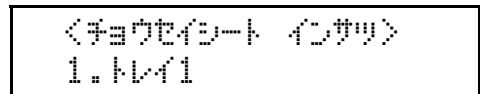
```
<チョウセイ/カンリ>
3.インサツイチ チョウセイ
```

印刷位置調整のメニューが表示されます。

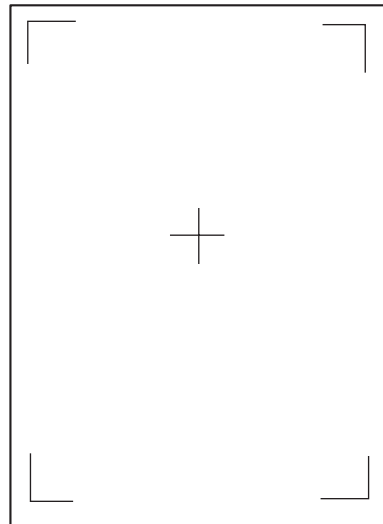
4 **印刷位置を調整するための目安とする調整シートを印刷します。**

❶ **「チョウセイシートインサツ」が表示されているの確認して、【OK】キーを押します。**

```
<インサツイチ チョウセイ>
1.チョウセイシートインサツ
```

調整するトレイの選択画面が表示されます。

❷ **【▲】または【▼】キーを使用して調整するトレイを表示させ、【OK】キーを押します。**

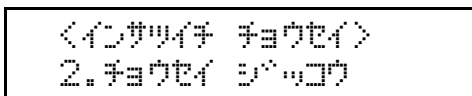
```
<チョウセイシート インサツ>
1.トレイ1
```

調整シートが印刷され、印刷位置調整のメニューに戻ります。

5 **印刷した調整シートを確認して実際に印刷位置を調整します。**

ここでの設定は調整シートの余白部分が等しくなるように調整します。

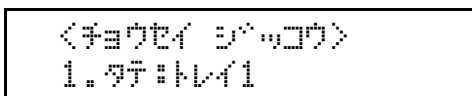
3

❶【戻る】キーを押します。

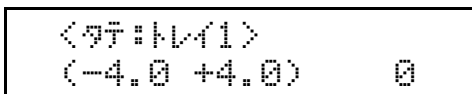
❷【▲】または【▼】キーを使用して「チョウセイジッコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

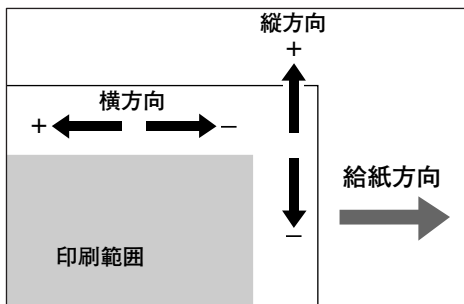
```
<ｲﾝｻﾂｲﾁ ﾁｮｳｾｲ>
2.ﾁｮｳｾｲ ｼﾞｯｺｳ
```

印刷位置調整の選択画面が表示されます。

❸【▲】または【▼】キーを使用して調整する方向（縦または横）とトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾁｮｳｾｲ ｼﾞｯｺｳ>
1.ﾀﾃ:ﾄﾚｲ1
```

印刷位置の調整画面が表示されます。

❹【▲】または【▼】キーを使用して、数値（単位mm）を現在の設定から変更します。

```
<ﾀﾃ:ﾄﾚｲ1>
(-4.0 +4.0)      0
```

補足

❒ 数値を大きくすると、印刷範囲を＋方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を－方向にずらして印刷します。

❒【▲】または【▼】キーを押し続けると、0.1mm単位で設定できます。

❺【OK】キーを押します。

手順❸の表示に戻ります。

❻ 続けて他の方向やトレイの印刷位置を調整する場合は、手順❸～❺を繰り返します。

❼【戻る】キーを押します。

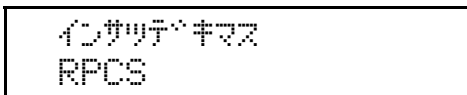
印刷位置調整のメニューに戻ります。

6 調整シートを印刷して、調整した結果を確認します。

7【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

4. 付録

消耗品一覧

以下の消耗品のご注文はお買い上げの販売店にご連絡ください。

トナーカートリッジ

商品名	販売単位	印刷可能ページ数 [*1]
IPSiOトナー ブラック タイプ6000A （商品コード：636377）	1個	約4,500ページ
IPSiOトナー イエロー タイプ6000A （商品コード：636378）	1個	約4,000ページ
IPSiOトナー マゼンタ タイプ6000A （商品コード：636379）	1個	約4,000ページ
IPSiOトナー シアン タイプ6000A （商品コード：636380）	1個	約4,000ページ
IPSiOトナー ブラック タイプ6000B （商品コード：636349）	1個	約9,000ページ
IPSiOトナー イエロー タイプ6000B （商品コード：636350）	1個	約8,000ページ
IPSiOトナー マゼンタ タイプ6000B （商品コード：636351）	1個	約8,000ページ
IPSiOトナー シアン タイプ6000B （商品コード：636352）	1個	約8,000ページ

*1 : A4各色5%チャートを連続印刷した場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、画像面積・濃度、一度に印刷する枚数、印刷する用紙の種類・サイズ・温湿度条件等によって異なります。また、本機は品質維持のため動作中に定期的にクリーニングを行いトナーを消費します。なおトナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

廃トナーボトル1

商品名	販売単位	印刷可能ページ数 [*1]
廃トナーボトル1 タイプ6000 （商品コード：307856）	1個	約50,000ページ [*2] 約20,000ページ [*3] 約12,500ページ [*4]

*1 : 実際の印刷可能ページ数は、画像面積・濃度、一度に印刷する枚数、印刷する用紙の種類・サイズ・温湿度条件等によって異なります。

*2 : モノクロのみでA45%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

*3 : カラーとモノクロ同じ比率でA4各色5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

*4 : カラーのみでA4各色5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

廃トナーボトル2

商品名	販売単位	印刷可能ページ数 *1
廃トナーボトル2 タイプ6000 *5 （商品コード：509255）	1個	約80,000ページ *2 約48,000ページ *3 約20,000ページ *4

*1 ：実際の印刷可能ページ数は、画像面積・濃度、一度に印刷する枚数、印刷する用紙の種類・サイズ・温湿度条件等によって大きく異なります。

*2 ：モノクロのみでA4▯5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

*3 ：カラーとモノクロ同じ比率でA4▯各色5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

*4 ：カラーのみでA4▯各色5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

*5 ：定期交換部品の感光体ユニットに廃トナーボトル2が装着されています。

定着オイルユニット

商品名	販売単位	印刷可能ページ数 *1
定着オイルユニット タイプ6000 *2 （商品コード：307862）	1個	約30,000ページ

*1 ：A4▯各色5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、画像面積・濃度、一度に印刷する枚数、印刷する用紙の種類・サイズ・温湿度条件等によって異なります。

*2 ：定着オイルユニットは定着オイルが残っていても定着クリーニング機能の低下を防ぐために交換時期になることがあります。

ステープル針

商品名	販売単位	針数
リコー PPCステープラー針 タイプG （商品コード：316283）	1箱（4個）	3,000針×4

用紙

種類	商品名	サイズ	販売単位
普通紙	リコピー PPC用紙 タイプ6200	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル	1ケース（250枚×10パック）
	リコー PPC用紙タイプ6000<58W>	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（500枚×5パック）
	リコピー PPC用紙 タイプ6000<70W>	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（500枚×5パック）
	リコー PPC用紙タイプ6000<90W>	A3、B4	1ケース（200枚×5パック）
		A4、B5	1ケース（200枚×10パック）
再生紙	マイリサイクルペーパー 100	A3	1ケース（500枚×3パック）
		A4、A5、B4、B5、レター、リーガル	1ケース（500枚×5パック）
	マイリサイクルペーパー 100W	A3	1ケース（500枚×3パック）
		A4、B4、B5	1ケース（500枚×5パック）
		A4	1ケース（1000枚×3パック）
	マイリサイクルペーパー FC	A3	1ケース（500枚×3パック）
		A4、B4、B5	1ケース（500枚×5パック）
カラー紙	リコピー PPC用紙 タイプCP（ピンク） タイプCB（ブルー） タイプCY（イエロー） タイプCG（グリーン）	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（250枚×10パック）
ハクリ紙	リコピー PPC用紙 タイプSA	A4、B4	1パック（100枚入り）
第二原図用紙	リコピー PPC用紙 タイプTA	A3	1ケース（200枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（200枚×10パック）
OHPフィルム	リコー OHPフィルム タイプPPC-FC	A4	1パック（100枚入り）

定期交換部品一覧

以下の消耗品のご注文はお買い上げの販売店にご連絡ください。

現像ユニット

	印刷可能ページ数 *1
現像ユニット カラー	約50,000ページ *2
現像ユニット ブラック	約50,000ページ *3

*1 : A4▯各色5%チャートを連続印刷した場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、画像面積・濃度、一度に印刷する枚数、印刷する用紙の種類・サイズ・温湿度条件等によって異なり、停止前に画像品質が低下することがあります。

*2 : カラー印刷をカラーとモノクロを同じ比率でA4▯5%チャート連続印刷をした場合の目安です。

*3 : A4▯5%チャート連続印刷をした場合の目安です。

定着ユニット

	印刷可能ページ数 *1
定着ユニット *2	約120,000ページ

*1 : A4▯各色5%チャートを連続印刷した場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、画像面積・濃度、一度に印刷する枚数、印刷する用紙の種類・サイズ・温湿度条件等によって異なり、停止前に画像品質ならびに搬送性能が低下することがあります。

*2 : 定着ユニットには、給紙コロ（給紙トレイ（標準）用）とフリクションパッドが同梱されています。

感光体ユニット

	印刷可能ページ数 *1
感光体ユニット *2	約80,000ページ *3 約48,000ページ *4 約20,000ページ *5

*1 : 実際の印刷可能ページ数は、画像面積・濃度、一度に印刷する枚数、印刷する用紙の種類・サイズ・温湿度条件等によって異なり、交換表示前に画像品質が低下することがあります。

*2 : 感光体ユニットには、廃トナーボトル2 タイプ6000が装着され、防じんフィルター（上）、（下）が同梱されています。

*3 : モノクロのみでA4▯5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

*4 : カラーとモノクロ同じ比率でA4▯各色5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

*5 : カラーのみでA4▯各色5%チャートを連続印刷をした場合の目安です。

用紙に関する注意

ここでは、用紙に関する注意事項を記載しています。本機でサポートしている用紙については、使用説明書＜運用編＞を参照してください。

用紙をセットするとき

重要

- ❒ 用紙はリコー推奨の用紙をご利用ください。それ以外を使用した場合の印刷結果は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。リコー推奨の用紙については、P.45「用紙」を参照してください。
- ❒ インクジェット専用紙はセットしないでください。定着ユニットに巻き付く原因になります。
- ❒ 用紙は以下の向きにセットしてください。
  - 給紙トレイ（標準）：印刷面を上
  - 500枚増設トレイユニット：印刷面を上
  - 手差しトレイ（マルチ）：印刷面を下
- ❒ OHP フィルムをセットする場合裏表を誤らないように注意してください。定着ユニットに巻き付く原因になります。
- ❒ 他のプリンターで一度印刷した用紙はセットしないでください。
- ❒ A5◻より幅の小さい用紙を連続して印刷すると、異音が発生することがあります（1,000枚程度が目安です）。異音が発生した場合は、ご購入の販売店または最寄りのサービス実施店にお問い合わせください。

用紙を保管するとき

- プリンターに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因となることがあります。用紙は以下の点に注意して保管してください。
  - 湿気の多いところには置かない。
  - 直射日光の当たるところには置かない。
  - 用紙は立てかけない。
- 残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

用紙の種類ごとの注意

❖ 普通紙

- 90g/m^2 未満の用紙を普通紙とします。90g/m^2 未満の用紙を使用する場合は、操作パネルの「用紙種類」から「普通紙」を選択してください。90g/m^2～105g/m^{2}の用紙を使用する場合は、操作パネルの「用紙種類」から「厚口カラー用紙」を選択してください。⇒使用説明書＜システム設定編＞「調整管理メニュー」
- すべてのトレイで印刷することができます。
- 給紙トレイ（標準）に一度にセットできるのは、最大250枚です。*1
- 500枚増設トレイユニット（オプション）に一度にセットできるのは、最大500枚です。*1
- 手差しトレイに一度にセットできるのは、最大100枚です。*1

  セットする用紙の量は、給紙トレイ内に表示された上限表示を超えないようにしてください。

  *1　リコー PPC用紙タイプ6200の場合
- 手差しトレイ（マルチ）にセットできる不定形用紙のサイズは、長さ148～457mm、幅90～305mmです。
- 本機で片面に印刷した用紙を手差しトレイ（マルチ）にセットして裏面印刷する場合は、プリンタードライバーの［用紙種類］の設定で「普通紙（裏面）」を選択してください。既に印刷されている面を上にセットしてください。

❖ 厚紙

- 106g/m^2 から163g/m^{2}までの用紙を厚紙とします。これ以上の用紙への印刷は保証できません。
- 給紙トレイ（標準）、または手差しトレイ（マルチ）にセットしてください。
- プリンタードライバーの［用紙種類］の設定は「厚紙」を選択してください。

- 本機で片面に印刷した用紙を手差しトレイ（マルチ）にセットして裏面印刷する場合は、プリンタードライバーの［用紙種類］の設定で「厚紙（裏面）」を選択してください。既に印刷されている面を上にセットしてください。
- 一度にセットできる枚数は、給紙トレイ（標準）の場合最大50枚、手差しトレイ（マルチ）の場合最大30枚です。
- 給紙時に異音がすることがありますが、故障ではありません。

❖ OHPフィルム

- 給紙トレイ（標準）、または手差しトレイ（マルチ）にセットしてください。
- 用紙は 方向にセットすることを推奨します。
- OHPフィルムは印刷のたびに、さばいてからセットしてください。トレイにセットしたまま放置していると密着して用紙送りを妨げる原因になります。
- 多重送りが発生した場合は1枚ずつセットするか、OHP合紙モードを使用してください。
- OHPフィルムはリコー推奨の用紙をご利用ください。推奨している用紙については、P.45「用紙」を参照してください。
- プリンタードライバーの［用紙種類］の設定は「OHPフィルム」にしてください。
- 一度にセットできる枚数は、給紙トレイ（標準）の場合最大20枚、手差しトレイ（マルチ）の場合最大50枚です。

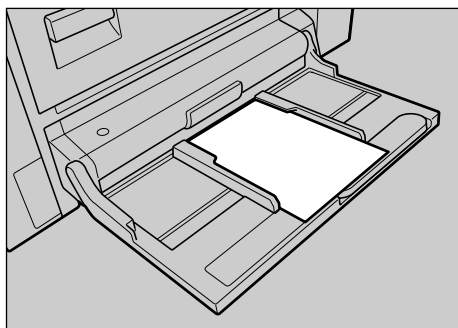
❖ 第二原図用紙

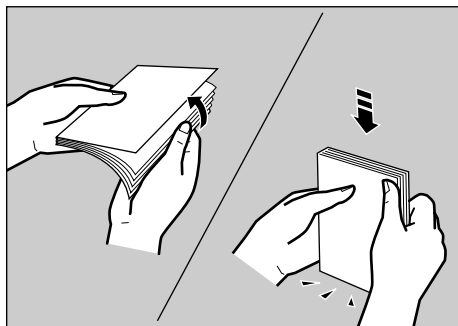
- 手差しトレイ（マルチ）に1枚ずつセットしてください。

❖ ハクリ紙

- 手差しトレイ（マルチ）に1枚ずつセットしてください。
- リコピーPPC用紙タイプSAは、方向にセットすることを推奨します。
- 用紙の全面が印刷できるもので、糊面がはみ出していないものを使用してください。
- コーティングされている用紙は、通常の用紙よりもトナーの定着が悪いため、印刷品質が落ちます。
- 切り込み部分に印刷すると汚れる場合があります。

❖ 官製はがき

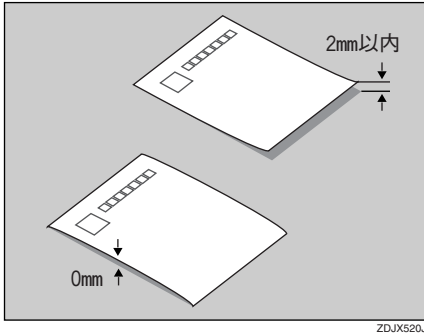
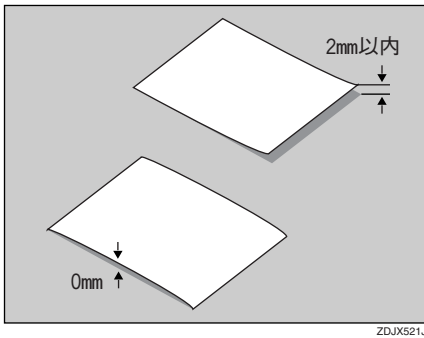
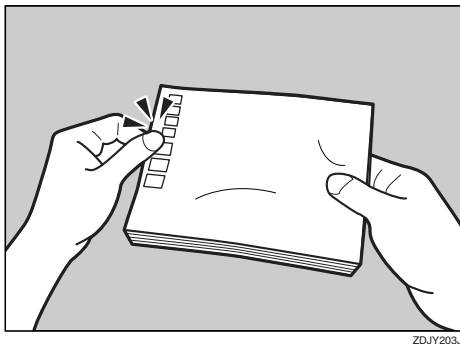
- 給紙トレイの場合は印刷面を上、手差しトレイの場合は印刷面を下にしてセットしてください。

ZESY201J

- 図のようにはがきをさばいてから、端を揃えてセットしてください。

ZDJY202J

- 一度にセットできる枚数は、給紙トレイの場合最大50枚、手差しトレイ（マルチ）の場合最大30枚です。

重要

- ❒ はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。宛名側の面に印刷するときは、セットする前に反りが下図の範囲になるように直してください。

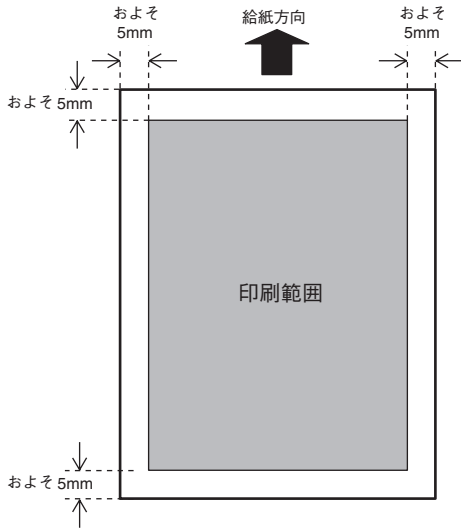
- 給紙トレイ（標準）にセットする場合（宛名側の面を上にセットする）

- 手差しトレイ（マルチ）にセットする場合（宛名側の面を下にセットする）

❒ はがきの先端部が曲がっていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に先端部を図のように指でのして曲がりを直してください。

- 使用できるのは官製はがきだけです。以下のはがきは使用できません。
  - 私製はがき
  - 絵はがきなどの厚いはがき
  - 絵入りはがきなど裏映り防止用の粉のついているはがき
  - インクジェットプリンター専用はがき
  - 他のプリンターで一度印刷したはがき
  - 表面加工されているはがき
  - 表面に凸凹のあるはがき
- プリンタードライバーの［原稿サイズ］の設定を「官製ハガキ」に、［用紙種類］の設定を「厚紙」にしてください。
- 給紙時に異音がすることがありますが、故障ではありません。

使用できない用紙

以下のような用紙は使用しないでください。

- インクジェット専用紙
- しわ、折れ、破れ、端部が波打っている用紙
- カール（反り）のある用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙
  特にレーザープリンター以外の機種（モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンターなど）で印刷されたものは、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。
- 表面加工された用紙（指定用紙を除く）
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ミシン目や穴などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙が見えるラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙
- 封筒

印刷範囲

本機の印刷範囲は以下のとおりです。

保守・運用について

お客様登録・保守契約

お客様登録はがき、(仮) 保証書

このはがきをご返送いただくことにより、正式保証書を発行(無償保証期間の保守サービス対象機として登録)させていただきます。お手数ですが、必要事項をご記入の上必ずご返送ください。

なお、(仮) 保証書は正式保証書が届くまでの期間限定保証書となりますので、大切に保管してください。

補足

❒ ご登録がない場合には手続きに時間がかかる場合がありますので、必ずご返送ください。

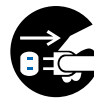
保守契約

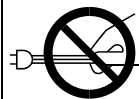
- 保守契約とは、お客様本位に考えられた無償保証期間後のサービスシステムです。一定のご予算でプリンターを良好な状態に保ちます。
- 保守契約されると次のようなメリットがあります。
  - 計画的に経費の運用ができます。
  - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
  - カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。
- 保守契約を希望される場合は、購入された販売店にご連絡ください。

移動

⚠注意

- プリンター本体は約 60kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面にある取っ手を2人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるようにプリンターの措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

重要

❒ 移動の際は、トナーがこぼれないように静かに移動してください。

補足

- ❒ オプションの専用テーブルを取り付けている場合で、転倒防止足が引っ掛かり移動ができないときは、サービス実施店までご連絡ください。
- ❒ 輸送する場合は、オプションを取り外し、プリンター購入時の箱に入れてください。

移動するとき

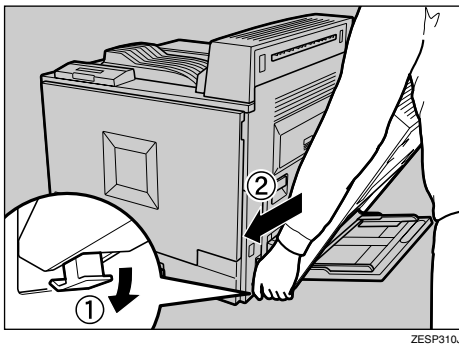
1 本機の電源が入っている場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 オプションを取り外します。

オプションの取り外しは、使用説明書＜オプション設置編＞「オプションを取り付ける」を参照し、取り付け手順の逆の操作を行ってください。なお、両面印刷ユニット、500枚フィニッシャー、4ビンプリントポストを取り外すときは、以下のように取り付け手順とは異なる操作が必要になります。

❖ **両面印刷ユニットの取り外し**

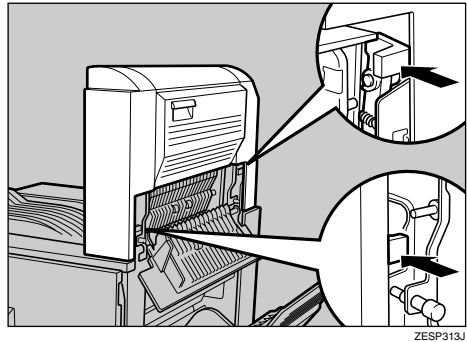
2個所のストッパーを取り外して補助バーを外したあと、レバーを下げながら両面印刷ユニットを本機から取り外します。

① 両面印刷ユニットを両手で持ち、左下部のレバーを左手で押しながら、ユニットを左方向へ動かして外します。

ZESP310J

❖ **500枚フィニッシャーの取り外し**

手差しトレイ（マルチ）/両面印刷ユニットを開き、本機の右カバー/分岐ユニットの右カバーをそれぞれ開けたあと、ロックを解除して取り外します。

① 500枚フィニッシャーと本機を固定しているねじ3個を取り外します。

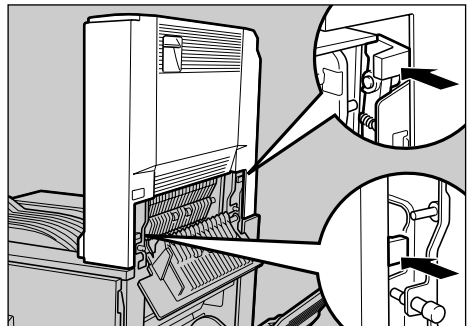
② 図の位置にあるレバーを2個所押し、ロックを解除します。

ZESP313J

③ 500枚フィニッシャーを両手で持ち、ゆっくりと引き上げて取り外します。

❖ **4ビンプリントポストの取り外し**

排紙ビンを4枚取り外します。手差しトレイ（マルチ）/両面印刷ユニットを開き、本機の右カバー/　分岐ユニットの右カバーをそれぞれ開けたあと、ロックを解除して取り外します。

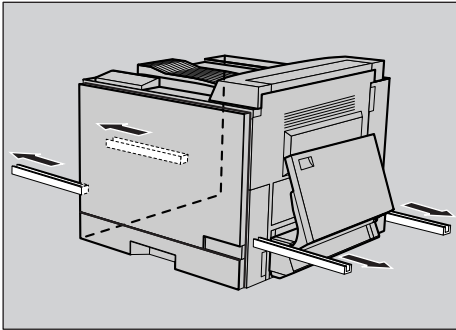
① 4ビンプリントポストと本機を固定しているねじ3個を取り外します。

② 図の位置にあるレバーを2個所押し、ロックを解除します。

③ 4ビンプリントポストを両手で持ち、ゆっくりと引き上げて取り外します。

重要

- ケーブル類はすべて取り外します。
- 精密機器ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。

3 本機の側面から、運搬用の取っ手を4本引き出します。

ZESP006J

補足

- 運搬用の取っ手は最後まで確実に引き出してください。

4 引き出した取っ手を2人以上で持ち、本機を移動します。

5 手順2でオプションを取り外した場合は、プリンター本体設置後に取り付けます。

参照

オプションの取り付け方法については、使用説明書<オプション設置編>「オプションを取り付ける」を参照してください。

廃棄

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

4

索引

アルファベット索引

OHPフィルム **48**

あ行

厚紙 **47**
安全上のご注意 **3**
移動 **51**
印刷位置の調整 **41**
印刷濃度の調整 **40**
印刷範囲 **50**
エネルギースター **8**
お客様登録はがき **51**

か行

各部の名称とはたらき
　全体 **11**
　操作パネル **14**
　内部 **13**
　背面 **12**
カラー階調補正 **35**
給紙コロの清掃 **30**

さ行

使用上のお願い **7**
消耗品一覧 **43**
　ステープル針 **44**
　定着オイルユニット **44**
　トナーカートリッジ **43**
　廃トナーボトル1 **43**
　廃トナーボトル2 **44**
　用紙 **45**
消耗品を交換する **15**
清掃・調整 **29**
操作パネル **14**

た行

第二原図用紙 **48**
定期交換部品一覧 **46**
　感光体ユニット **46**
　現像ユニット **46**
　定着ユニット **46**
定着オイルユニットの交換 **23**
トナーの補給 **15**

は行

廃棄 **53**
廃トナーボトル1を交換する **19**
廃トナーボトル2を交換する **21**
はがき **48**
ハクリ紙 **48**
普通紙 **47**
フリクションパッドの清掃 **30**
付録 **43**
防じんガラスの清掃 **34**
保守・運用 **51**
保守契約 **51**

ま行

マークについて **9**

や行

用紙に関する注意 **47**

ら行

レジストローラーと搬送ガイド板の清掃 **32**

商標

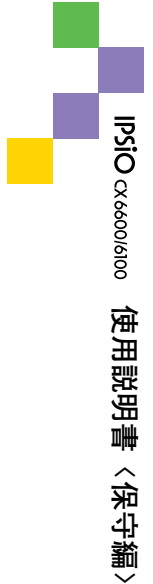
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- BMLinkSは、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

IPSiO CX6600/6100 使用説明書〈保守編〉

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。
修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター、IPSiO（イプシオ）ダイヤル」にご連絡ください。

FreeDial 0120-56-1240（コールはイプシオ）

● 受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手することができます。
● インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。
この説明書は再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

Printed in China

2003年5月　G100-8505